臺灣日日新報 夕刊 昭和十年六月二十八日 (第二種郵便物認可) (朝刊一部一錢五厘) (夕刊一部二錢) 六月二十七日 少利入個定價一部二錢一部一錢五厘

正式回答文書の手交けふ完了す

土肥原少將を一

秦德純氏が訪問

【北平二十七日發電通至急報】秦德純氏は二十七日午前十時十五分我が北平武官室を訪問し、土肥原少將に對し我方の要求を全面的に承認したる正式回答文書を手交し、改めてチャハル事件に對し謝罪し事件は全く解決した

調印手續は省略

【北平二十七日發電通至急報】二十七日の察哈爾問題最後的解決の形式は我方より解決條件を文書として支那代表秦德純氏に手交し之に對し秦德純氏より日本側の要求文書を受領し之を承認する旨の回答文書を提出したもので正式調印等の手續は省略したものである

取極めの内容

【北平二十七日發電通至急報】二十七日の察哈爾問題最後的解決の形式は我方より解決條件を文書として支那代表秦德純氏に手交し之に對し秦德純氏より日本側の要求文書を受領し之を承認する旨の回答文書を提出したもので正式調印等の手續は省略したものである

一、第二十九軍軍長の職を退く
一、今後察哈爾省内に於て排日行爲を再發せしめざるやう保障し且つ排日團體の組織を解散しこの種團體の組織を嚴禁す
一、察哈爾省境を侵し治安を攪亂せる第百三十二師を關内に移駐し直接責任者たる同師參謀長並に軍法處長を罷免す
一、張北事件を遲延せる第百三十二師を關内に移駐し同地域内には將來も駐兵せず
一、張北事件發生當時現地に於て排日行爲ありたる地方官吏は之を罷免す
一、宋哲元氏は察哈爾省政府主席兼軍事委員會委員長に任ぜられ、國府は左の通りである
一、察哈爾省政府主席兼軍事委員會委員長 宋哲元
一、秘書長 劉哲
一、民政廳長 秦德純
一、財政廳長 石敬亭
一、教育廳長 高凌百
一、建設廳長 張自忠
一、保安處長 鄭大章
一、察哈爾省境を侵し治安を攪亂せる第百三十二師を關内に移駐し同地域内には將來も駐兵せず
一、張北事件發生當時現地に於て排日行爲ありたる地方官吏は之を罷免す
一、察哈爾省政府主席兼軍事委員會委員長 宋哲元
一、秘書長 劉哲
一、民政廳長 秦德純
一、財政廳長 石敬亭
一、教育廳長 高凌百
一、建設廳長 張自忠
一、保安處長 鄭大章

陸軍武官室發表

【北平二十七日發電通至急報】軍武官室二十七日午前十一時四十分發表

秦哈爾事件に關し六月二十三日以來正式交渉ありしが秦哈爾當局は我が條理ある解決案を容れ遂に本二十七日午前十時四十分秦哈爾事件に關し六月二十三日以來正式交渉ありしが秦哈爾當局は我が條理ある解決案を容れ遂に本二十七日午前十時四十分

察哈爾省に日本人顧問

【北平二十六日發電通至急報】察哈爾問題の解決と共に同省政府に日本人顧問を置くことが十四日土肥原少將と秦德純氏との間に意見一致し南京政府も之を承認した、右は解決文書には止まるものであるが省政府成立の際に日本人を招聘することは即ち多年國民政府並立案日本人に對して屢々問題とされた顧問問題の門戸が廣く開かれた訳で國府は察哈爾省においても從來日本人顧問を置いた前例があるので之が實現に至つたのである、而して右顧問が實際的か經濟的のものかは未定であるが日支親善の實現に一光明を投じたものとして重視されてゐる

内務次官は赤木氏

廿八日の閣議で決定

【東京二十七日發電通至急報】内務次官の更迭に伴ふ異動に二十八日の閣議で左の如く決定する筈となつた

内務省次官 赤木朝治
任内務次官（一等）

宮城縣知事 半井清
任内務省社會局長官
沖繩縣知事（一等） 井澤彌惣平
任宮城縣知事
沖繩縣知事後任
【東京二十七日發電通信】沖繩縣知事後任は内務省社會局長官である宮城縣知事半井清氏の轉任となつたが、後任には内務省警保局の内より適當なる人物を物色中である

支那雜誌『新生』の不敬記事問題解決す

【上海二十六日發電通信】支那雜誌『新生』の不敬記事に對し我が國民間團體並當局は去る二十四日上海特別市當局に對し嚴重抗議を申入れたが、之が解決に關し上海市長吳鐵城氏は二十六日午前十時より市政府に於て關係者と會見協議の結果、『新生』も既に自發的に謝罪の意を表明し且つ問題の記事は二十六日附を以て發行停止となつたので問題は一應解決した

金融會議

大藏、日銀、興銀の首腦部

【東京二十六日發】大藏省及び日銀、興業銀の首腦部は二十六日午前十時より大藏省に於て會見し

國境の危機去る

宋軍一兵も殘さず

滿洲國領より後退

【新京廿七日發通信】滿洲國軍總司令部は二十七日關東軍司令部に對し我が國民間團體並當局は去る二十四日上海特別市當局に對し嚴重抗議を申入れたが、之が解決に關し上海市長吳鐵城氏は二十六日午前十時より市政府に於て關係者と會見協議の結果、『新生』も既に自發的に謝罪の意を表明し且つ問題の記事は二十六日附を以て發行停止となつたので問題は一應解決した

秩父宮殿下

弘前へ御轉出

少佐に御昇進、大隊長へ

【東京二十七日發】八月の陸軍定期異動に依り弘前に在る秩父宮殿下には少佐に御進、弘前歩兵第三十一聯隊大隊長に御轉補遊ばされる筈で其の御異動については既に内定した

賀陽宮、李王兩殿下

聯隊長に御榮轉

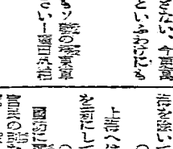
姫路、宇都宮へ御赴任

【東京二十七日發】陸軍の初夏に於ける異動に依り賀陽宮、李王兩殿下には聯隊長に御轉補遊ばされる筈で其の御異動については既に内定した

日、滿、ソ共同委員會

廣田外相が提案

ユ大使との會見で



【東京二十七日發】駐日ソヴエト大使ユレネフ氏は二十六日發ソ連邦ニ歸任の途に就いたが、之に先だち廣田外相と會見、滿洲國問題に關し日滿ソ三國の共同委員會を設置することを提案した

内務次官は

赤木氏

廿八日の閣議で決定

【東京二十七日發】内務次官の更迭に伴ふ異動に二十八日の閣議で左の如く決定する筈となつた

内務省次官 赤木朝治
任内務次官（一等）

察哈爾省に日本人顧問

【北平二十六日發電通至急報】察哈爾問題の解決と共に同省政府に日本人顧問を置くことが十四日土肥原少將と秦德純氏との間に意見一致し南京政府も之を承認した、右は解決文書には止まるものであるが省政府成立の際に日本人を招聘することは即ち多年國民政府並立案日本人に對して屢々問題とされた顧問問題の門戸が廣く開かれた訳で國府は察哈爾省においても從來日本人顧問を置いた前例があるので之が實現に至つたのである、而して右顧問が實際的か經濟的のものかは未定であるが日支親善の實現に一光明を投じたものとして重視されてゐる

沖繩縣知事後任

【東京二十七日發】沖繩縣知事後任は内務省社會局長官である宮城縣知事半井清氏の轉任となつたが、後任には内務省警保局の内より適當なる人物を物色中である

金融會議

大藏、日銀、興銀の首腦部

【東京二十六日發】大藏省及び日銀、興業銀の首腦部は二十六日午前十時より大藏省に於て會見し

秩父宮殿下

弘前へ御轉出

少佐に御昇進、大隊長へ

【東京二十七日發】八月の陸軍定期異動に依り弘前に在る秩父宮殿下には少佐に御進、弘前歩兵第三十一聯隊大隊長に御轉補遊ばされる筈で其の御異動については既に内定した

賀陽宮、李王兩殿下

聯隊長に御榮轉

姫路、宇都宮へ御赴任

【東京二十七日發】陸軍の初夏に於ける異動に依り賀陽宮、李王兩殿下には聯隊長に御轉補遊ばされる筈で其の御異動については既に内定した

日、滿、ソ共同委員會

廣田外相が提案

ユ大使との會見で

【東京二十七日發】駐日ソヴエト大使ユレネフ氏は二十六日發ソ連邦ニ歸任の途に就いたが、之に先だち廣田外相と會見、滿洲國問題に關し日滿ソ三國の共同委員會を設置することを提案した

無絃琴

こんど重來

牛みつかつて

朗らかな人生

光岡靜夫作
田中比左良畫

戀の七面鳥（完）

紛爭の

異存な

その日その日

漫畫 やまもり屋。トリちやん (54)

松下井知夫

人事

【東京二十六日發】二十六日左の如く發令された

奏美大島要塞司令官 歩兵大佐 笠原次郎

任陸軍省附
（陸軍省副官兼陸軍大臣秘書官）
歩兵大佐 酒井鎬次郎
（陸軍省副官兼陸軍大臣秘書官）
歩兵大佐 岡部直三郎
（陸軍省副官兼陸軍大臣秘書官）

補奏美大島要塞司令官
歩兵大佐 笠原次郎

▲陸軍省人事局附 歩兵大佐 酒井鎬次郎
（陸軍省副官兼陸軍大臣秘書官）
▲陸軍省副官兼陸軍大臣秘書官 歩兵大佐 岡部直三郎
（陸軍省人事局附）
▲陸軍省副官兼陸軍大臣秘書官 歩兵大佐 笠原次郎
（奏美大島要塞司令官）

大評判！婦人倶樂部七月號の二大附錄

戰傷病兵の妻

典型的小兒の一日

服飾と藝事新の裏

（別冊附錄）

更に名小説評判記事滿載

今夏流行の粋を集めた
豪華大附錄
御家庭でミシン掛ける附錄です。既製品に讓者の手になつて一流デザイナーが苦心されたもの丈に、設計が眼切で分り易く、初心の方でも眼鏡に狂ることが出來るので、七月號も大變な人氣で御座います。
實用と趣味を兼ねた
美しい新手藝何でも載ひのまゝにできます。
經濟な簡單服！
お子樣ものから大人物までを全部新型
ひ、ぜひこの夏には婦人倶樂部の附錄服裝とお決め下さいませ。

婦人倶樂部 一六十錢 〒送料共

刑務所と南京虫

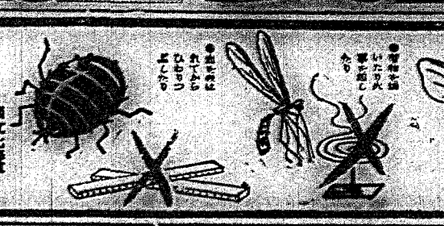
お蒸暑に惱つきものである如く、花柳に花柳がつきものである如く、そしてまた方面マダムに若き燕がつきものである如く、刑務所に南京虫は餘りにも有名な、傳統をつきものなのである。……ところがこの名物が、最近影を潛めると言ふ益だ名殺傷しいのニュース。

それは、今全日本殺虫業界に歷倒的な人氣を博しつゝある、超强力殺虫液ハルクの出現の賜で、早くも司法省衛生官井川博士の提唱で巷を試用した東京市ケ谷刑務所醫務部醫長博士 鎗田幸郎氏は、次の如き感謝らしい實驗報告を發表された。

一、殺虫液ハルクの件
殺虫液「ハルク」を當刑務所に於て試用したるに効果遙確にして而も簡便、且も優秀なる殺虫劑として推奨す

昭和十年六月
東京市ケ谷刑務所醫務部
醫長醫學博士 鎗田幸郎

超强力殺虫液ハルクは
蒸し暑い夜の蚊の攻撃・安眠妨害・不快な南京虫・蚤・蚋・蠅・蟻・百足・蜘蛛・蜚蠊・蚰蜒・蚤取虫・蚤取犬・蚤取猫・蚤取粉・蚤取石鹸・蚤取風呂・蚤取ブラシ・蚤取櫛・蚤取眼鏡・蚤取帽子・蚤取靴・蚤取足袋・蚤取下駄・蚤取草履・蚤取手袋・蚤取マフラー・蚤取ネクタイ・蚤取ハンカチ・蚤取シャツ・蚤取ズボン・蚤取上衣・蚤取チョッキ・蚤取外套・蚤取雨傘・蚤取洋傘・蚤取日傘・蚤取扇子・蚤取団扇・蚤取煙草・蚤取マッチ・蚤取灰皿・蚤取ライター・蚤取万年筆・蚤取鉛筆・蚤取消しゴム・蚤取ノート・蚤取手帳・蚤取財布・蚤取時計・蚤取指輪・蚤取腕輪・蚤取首飾り・蚤取耳飾り・蚤取鼻眼鏡・蚤取入歯・蚤取義眼・蚤取義手・蚤取義足・蚤取松葉杖・蚤取盲導犬・蚤取盲人・蚤取乞食・蚤取浮浪者・蚤取ルンペン・蚤取失業者・蚤取労働者・蚤取農夫・蚤取漁夫・蚤取船頭・蚤取船長・蚤取水夫・蚤取機関士・蚤取運転手・蚤取車掌・蚤取駅夫・蚤取駅長・蚤取郵便配達夫・蚤取郵便集配人・蚤取郵便局長・蚤取電信技手・蚤取電話交換手・蚤取電話局長・蚤取新聞記者・蚤取新聞社長・蚤取雑誌記者・蚤取雑誌社長・蚤取出版業者・蚤取印刷工・蚤取製本工・蚤取校正係・蚤取編輯者・蚤取著述家・蚤取文士・蚤取画家・蚤取彫刻家・蚤取写真師・蚤取活動写真俳優・蚤取女優・蚤取男優・蚤取芸者・蚤取幇間・蚤取太鼓持・蚤取踊子・蚤取歌手・蚤取音楽家・蚤取楽士・蚤取指揮者・蚤取作曲家・蚤取ピアノ・蚤取バイオリン・蚤取チェロ・蚤取ハープ・蚤取ギター・蚤取マンドリン・蚤取ハーモニカ・蚤取笛・蚤取太鼓・蚤取鉦・蚤取三味線・蚤取琴・蚤取尺八・蚤取胡弓・蚤取琵琶・蚤取浪花節・蚤取講釈師・蚤取落語家・蚤取漫才師・蚤取手品師・蚤取曲芸師・蚤取軽業師・蚤取力持・蚤取相撲取・蚤取柔道家・蚤取剣道家・蚤取空手家・蚤取拳闘家・蚤取ボクサー・蚤取レスラー・蚤取競技者・蚤取選手・蚤取コーチ・蚤取審判員・蚤取運動場・蚤取競馬場・蚤取競輪場・蚤取競艇場・蚤取競技場・蚤取野球場・蚤取庭球場・蚤取ゴルフ場・蚤取スケート場・蚤取スキー場・蚤取海水浴場・蚤取温泉場・蚤取避暑地・蚤取避寒地・蚤取別荘・蚤取邸宅・蚤取豪邸・蚤取大邸宅・蚤取小邸宅・蚤取長屋・蚤取貸家・蚤取借家・蚤取家主・蚤取地主・蚤取小作人・蚤取農業・蚤取農家・蚤取農夫・蚤取農婦・蚤取百姓・蚤取牧場・蚤取牧夫・蚤取牧童・蚤取牛・蚤取馬・蚤取豚・蚤取羊・蚤取山羊・蚤取鶏・蚤取鶏舎・蚤取鶏卵・蚤取鶏肉・蚤取鴨・蚤取鴨肉・蚤取鴨卵・蚤取七面鳥・蚤取七面鳥肉・蚤取七面鳥卵・蚤取鵞鳥・蚤取鵞鳥肉・蚤取鵞鳥卵・蚤取兎・蚤取兎肉・蚤取兎毛・蚤取猫・蚤取猫皮・蚤取犬・蚤取犬皮・蚤取狸・蚤取狸皮・蚤取狐・蚤取狐皮・蚤取貂・蚤取貂皮・蚤取鼬・蚤取鼬皮・蚤取鼠・蚤取鼠皮・蚤取モルモット・蚤取ハムスター・蚤取リス・蚤取リス皮・蚤取栗鼠・蚤取栗鼠皮・蚤取猿・蚤取猿皮・蚤取猩々・蚤取猩々皮・蚤取ゴリラ・蚤取ゴリラ皮・蚤取オランウータン・蚤取オランウータン皮・蚤取チンパンジー・蚤取チンパンジー皮・蚤取ヒヒ・蚤取ヒヒ皮・蚤取狒々・蚤取狒々皮・蚤取狐狸・蚤取狐狸皮・蚤取狸・蚤取狸皮・蚤取狐・蚤取狐皮・蚤取貂・蚤取貂皮・蚤取鼬・蚤取鼬皮・蚤取鼠・蚤取鼠皮・蚤取モルモット・蚤取ハムスター・蚤取リス・蚤取リス皮・蚤取栗鼠・蚤取栗鼠皮・蚤取猿・蚤取猿皮・蚤取猩々・蚤取猩々皮・蚤取ゴリラ・蚤取ゴリラ皮・蚤取オランウータン・蚤取オランウータン皮・蚤取チンパンジー・蚤取チンパンジー皮・蚤取ヒヒ・蚤取ヒヒ皮・蚤取狒々・蚤取狒々皮



ハルク
國立北海道工業試驗場 科學的製造
大瓶・七十五錢 小瓶・四十二錢

帝人事件第三回公判

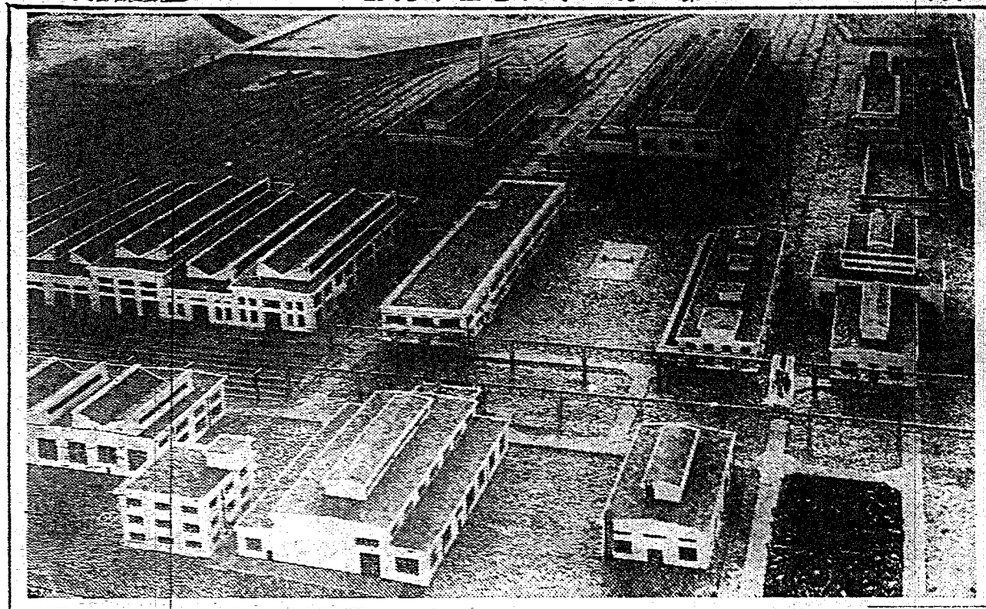
怒りの形相物凄く 高木氏檢事席に突進

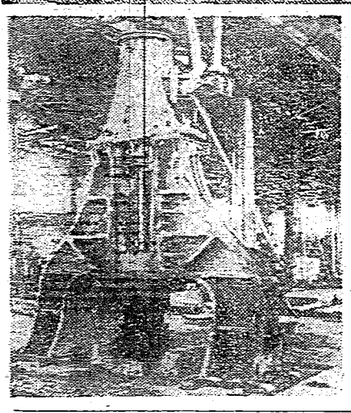
今にも摑みかからんとしたが 裁判長に宥められ冷靜を取戻す

【東京二十七日發】帝人事件第三回公判は二十七日午前八時三十分から東京地方裁判所第一號法廷において龍井被裁判長係り關與石田、美濃部、平田、藤枝田兩檢事立會の下に開廷され、高木復亨氏起訴の昭和二年の臺銀救濟に關する爭點につき陳述し、一、臺銀貸出から臺銀の借りた金は國有債券擔保の藏證據が一億二千四百萬圓、昭和二年法律第五十五號に依る特融三千八百四十七萬圓、震災手形割引に依るもの五千二十六萬圓である、臺銀調査當時之に對し一億二千四百萬圓の口は昭和十七年、特融の口は昭和十二年五月、震災手形に依るものは同年九月に弁濟することを決定したと述べ

臺銀がこの期限を守るためには貸付金が皆收回來ても臺銀自身一年五百萬圓位の資金を切らねばならなかつた、その爲臺銀理事者は血の出るやうな苦心をしてゐた、努力の結果震災手形に依る日銀の借金五千萬圓を昭和十二年五月、震災手形に依るものは同年九月に弁濟することを決定したと述べ

臺銀がこの期限を守るためには貸付金が皆收回來ても臺銀自身一年五百萬圓位の資金を切らねばならなかつた、その爲臺銀理事者は血の出るやうな苦心をしてゐた、努力の結果震災手形に依る日銀の借金五千萬圓を昭和十二年五月、震災手形に依るものは同年九月に弁濟することを決定したと述べ





東洋一

松山の鐵道新工場

九月早々に落成式

機械類や設備は東洋一の折紙

泉町工場は來月から引越し

夫婦仲の不和を 憂ひ、死で戒しむ

目殺の計り危篤

震災救援の義金

十五萬二千餘圓

利子を加へ本社扱ひ分全部 總督府に處分方を一任

「株」は簡單には 數字で計り得ぬ

檢事に對して柔かに抗議

日滿不可分の 關係を明にする

謝滿洲國大使、門司で語る

拂込金を早く 拂戻せといきまく

日東住宅新竹營業所の 加入契約者廿名が

【新竹電話】東洋一の住宅地を以て稱せらるる新竹市南門一〇の日東住宅株式會社新竹營業所は資金難の爲め拂込金を一時中止するの已むなきに至つたので、加入契約者廿名は去る二十六日午後一時から同所に會合し、會社側の態度に對し激烈なる質問を發し、中には會社の不信を鳴らし拂込金の即時返還を迫るものもあつたが、會社側は目下整理中なるを以て、暫く猶豫を與へられたしと懇請し、漸く一同の納得を得て散會したが、尚ほ會社側の態度に對し不安の念を抱くもの多く、今後の成行きは相當注目されてゐる

加藤浩氏の學位論文通過

臺北帝國大學醫學部教授加藤浩氏の學位論文「臨床的物質の分子の大きさに關する研究」特に膠質溶液の分子量に關する研究」は二十六日醫學部教授會に於て可決され、氏は大正十二年北大醫學部醫科卒業

秋原管理局長苗栗郡を視察

【新竹電話】二十六日朝新竹の出發

新竹のゴルフ場開き

三十日に擧行

【新竹電話】勝村內務部長により創設された新竹ゴルフリンクスも愈々竣工し本月末頃迄でクラブ設備の擴張を行つたが既に六十名に

植木の密輸を計る

【基隆電話】臺北市川端町三丁目木商植村兼次郎こと植村兼次郎は去る十八日基隆港着貨物より郷里より植物八株七百九十二本を密輸入せんとしたので稅關監視部に於て發見し取調べたる處、植村は植物檢疫法第十條の檢疫を受けずして輸入せんとしたもので同法第廿條の規定に依り處罰方を稅關長に申請したので目下基隆署に於て取調べ中である

南署長から感謝に金一封を贈る

一二三日間續けた不眠不休の活動

去る五月二十日午後九時頃から翌廿一日午前八時頃迄の間に亘り南署管內に於て發生した不敬事件、次で日銀北門前からの臺銀の僞物の行使事件等相次いで發生し、署員總出の活動を續けた不眠不休の活動振りに對し、昭和八年五月十日に於ける臺銀僞物事件の際に於ける功績に依るもの二千二百圓、昭和十

親鸞聖人

（248）

吉川英治作

山村耕花畫

女人篇

屠根の下（一）

半を越えて間もない正月の宵だった。

白い屋根が、雪のうちに上きかけて暮れた宵からである。親鸞を寒にかけて、風はひどくなって来た。

戦りについた人たちが、

「雨がもる！」

と叫き出して騒ぎたてた。

雪は、紙張りつけて、雪の外（雨を出したが、すぐ消されてしまった。

（屋根の音が、ふくらむように、がたくと鳴ってるが、そのうちに、上人の寝屋の戸が外れて、車を押すように、雪崩の音い）

と中のぞいてゐる。頭からつぶ濡れになってゐるその男を、人々が見て、驚のほうから、

「盗られるが、どなたぢゃ」

と、たづねた。

「性善坊でございます」

と、その顔は云ふ。

「おゝ」

親鸞すぐ立つてゆかうとしたが、男ひとまたやうに、法衣のそばに坐った儘。

「なんぞ、用か」

とたづった。

「この雪に、お寒りもうさずやと、お起臥ひにうかがひました」

「よう来てくだされた。兄」

るとほり、上人にも、お寒りになって、

と、叫いた。

「やもう、ひどい有様です。ここ（寒の間にも、壁が崩れたのを直さうと思ひながら、門や第二の壁を築いた所は残りもありません。昭和の世のあのさゝな銀杏の樹ちが折れてましたに

（ころがった。

「お師さま」

「上人様」

まう暗で、誰かわからないが、もう数人もの弟子が、上人の寝室へ殺到して、そこに集まってゐた。

最後の一端が暴雨にさらはれてしまったものと見えて、白い雨水が、ぶちまけるやうに窓から落ちてゐるのである。もちろん灯りは努力してもも持つてゐなかった。

親鸞を初め、聖生や、覚阿などの弟子たちは、その暗い片隅に、寒の低い、寒がこゞえたので、皆その一所にかたまり合った。それが、師の法難だったのである。

せっかく、年暮のうちからすこしやすくなった悲願をぶりかへさぬやうにと、弟子たちは、身をもって法難をかこみながら、寒に和してゐた。

暴風雨はなかくやみさうにもない。みりくと、寒や氷がはげしだった。戸は、一枚二枚と剥がれて行って、壁が、柱のそうになって行ってゐるのが暴雨の中にもありくと見える。

その中を、聖生、そぶくと寒さに凍えて歩いてくる者もあった。

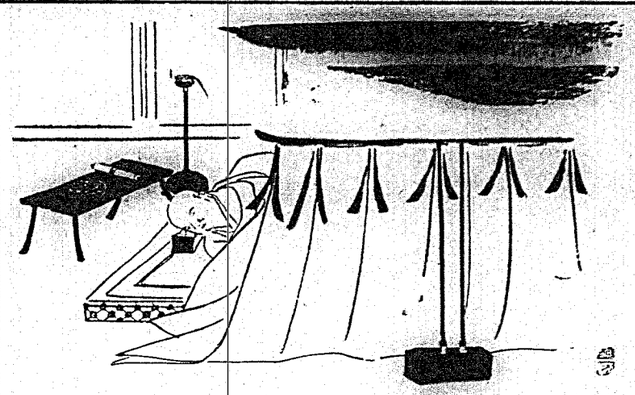
「親鸞様」

と、家のきたりを探ってゐるのだが、やがて、戸の外にところから、

「親鸞様は居られますか」

と叫いた。

「ここ（寒の間に寒、壁が崩れたのを直さうと思ひながら、門や第二の壁を築いた所は残りもありません。昭和の世のあのさゝな銀杏の樹ちが折れてましたに



俚諺

（題言、句數無制限、何人も投稿し得、締切は本欄掲載）

△殺一刑罰さの鰓へかけやり

寒北 好子

△行に疲れた北枝の重水拓むて

寒北 杜農祥

△しとしと生もない一回戦の花が淋しい敵地

寒北 蟹星

△空の濁で身刈りはしても國を褒るような馬鹿ちやない

寒北 山男

△噛んだお饒舌に悪い癖がめつてある

寒北 一矢

△雷雨曙降り込められて動けない子の身になる

寒北 八起

△雷鳴してどうやらこやら稲出て行くジュノウ號

寒北 久郎

△章地と梶の國産業振興する都城の繁昌

寒北 うた作

△山の気象が激にも物がでてゐるも世界しい不景気

横浜 醒鶏

雑誌紹介

▲婦人公論（第二十八號）　婦人問題解決の為に婦人参政権の獲得に努力してゐる婦人團体の一つ婦人参政権獲得期成同盟會の機関雑誌で本號には「ほのぼのと夜の田圃」賀川豊彦、「相馬御風先生を悼む」大山郁夫、「婦人参政権問題」鈴木文治、「婦人と政治」片山哲、「婦人と政治」尾崎行雄、「婦人参政権問題」市川房枝、「婦人と政治」安部磯雄、「婦人と政治」三宅雪嶺、「婦人と政治」永井柳太郎、「婦人と政治」鵜沢聡明、「婦人と政治」山田わか、「婦人と政治」松岡駒吉、「婦人と政治」赤松常子、「婦人と政治」藤原鎌兄、「婦人と政治」山川菊栄、「婦人と政治」奥むめお、「婦人と政治」市川房枝、「婦人と政治」久布白落実、「婦人と政治」平塚らいてう、「婦人と政治」与謝野晶子、「婦人と政治」与謝野晶子、「婦人と政治」与謝野晶子

臺灣震災豫防會議

今村博士重要建議

建築改良白蟻撲滅等

東京二十六日本社支局特電。翁文部省於去二十五日。開震災豫防評議會。三浦文官以下各關係當局。今村地震博士其他學界權威者多數出席。今村博士報告臺灣現地視察實況。一切供參考。結局建築改良。白蟻撲滅。教科書中挿入地震豫防所關事項。要兒童與及地震所關智識。欲一講於兒童拓相。中川總督云。

努力復興
成好部落
總督視察談

中川總督。去二十四、五、六三日間。視察新竹。臺中兩州下震災地復興狀況。二十六日午後七時四十分無事歸北。據云此番頒遭未曾有災害。深感災害不安。呆然自失。然二現其境。即兒官民一致。努力復興。誠可實現矣。藉此機會。向罹災地官民。表慰問之意。

附識指示事項。二、國體本義之明徹。一、公民科之教授徹底。一、實業學校規則改正之趣旨徹底。一、學校衛生劃新。一、始政四十周年紀念事業。又注意事項。一、參考圖書使用。二、生徒寄生訓練。一、寄宿舍傳染病豫防。一、學校秒日豫防。一、紀念事業。

全島中校長會議

廿七日開于督府

出席者三十四名

全島中等學校長會議。于二十七、八兩日。開于督府正廳。出席校長。臺灣北高校。中學校。師範。高女。實業學校等三十四名。

加以協刑問題。由校長以下職員。極力慰撫父兄。至二十六日。負傷兒童亦全部登校。然對設教員處分。據當局意見如左。

松尾市尹。謂惹起不祥事件。對社會一般不住。依學校善處及父兄一邊推量父兄間答案。十分緩和。依校長報告後。將處置教員云々。又高橋州教育課長。則謂尚未接到正式報告。聞學校現報告書作成中。俟正式報告。即與當局協議。

哈爾濱問題。善後措置。竝今後對日根本方針。而本其結論。各說反對分子。大勢料後。上程中央政治會議。一舉通過其方針。而正院長今後對日方針。在該調通中央政治會議。其方策如左。

一、救國之道。在足正日華關係。除去現下不安出提携之態度。爲最大急務。

一、爲復日華關係。於正常計。勿論排日取締。且自行努力改善兩國關係。

一、此意是使日方當局計。考慮共宣明對日方針。特使派遣等事。

一、懸案中北問題文書回答。亦須速他解決。

國民經濟振興方策

內審第一號諮問案附議

有意於明年度豫算實行

東京二十七日電。內閣審議會第三回總會。來二十八日午後開之。首相官邸。諮詢第一號審議方法。竝諮問第一號。更議議立中央、地方財政改善方案。設特別委員會。而答申案一部。至晚可於明年度豫算。具體而行。頗開特別委員會至選。至九月頃。終了對策。且政府諮問第一號。只限財政問題。有不合我國社會情勢之歸趨處。第一號諮問案。有意提出。我國經濟振興方策。但第一號諮問案。關財政問題。有得欲與此等關係商量。乃決定主催者。開催時期。博認可。要求現金授受云。

文山炭礦瓦斯爆發

卽死四名失踪五名

文山郡新店庄大坪林字七張泉利商會經營文山炭礦。去二十六日午後一時半。在同事務所。念餘名。于二十四外二名卽死。以外五名。生死不明。第以卽死者。四人燒死狀態推之。其五名想亦燒死。該從事工人。概屬壯丁。家有妻子頗爲苦痛云。

目下鉱意研究。其項目錄左。

一、財政稅制整理。

一、特別會計法人一般會計關題。

一、公債低利借換。其他稅負緩和改善。

一、地方稅制改善。

一、國家財政與地方財政之關係。

一、國庫補助金。

一、其他財政上之具體意見。

臺南州下
借入低資
分攤額決定

臺南州。本年度儲保局低資貸出分攤額。總計二十八萬一千圓。各市郡分攤額如左。

▲臺南市　市營住宅建築費十萬圓。臺南市實公學校改築費六萬六千圓。臺南魚市場移轉改築費二萬圓。計十八萬六千圓。

▲虎尾郡　水道布設施設費一萬五千圓。市場移轉改築費三萬圓。計四萬五千圓。

▲北門郡　市場改築費五萬圓。

努力復興
成好部落
總督視察談

中川總督。去二十四、五、六三日間。視察新竹。臺中兩州下震災地復興狀況。二十六日午後七時四十分無事歸北。據云此番頒遭未曾有災害。深感災害不安。呆然自失。然二現其境。即兒官民一致。努力復興。誠可實現矣。藉此機會。向罹災地官民。表慰問之意。

全島中校長會議

廿七日開于督府

出席者三十四名

全島中等學校長會議。于二十七、八兩日。開于督府正廳。出席校長。臺灣北高校。中學校。師範。高女。實業學校等三十四名。

附識指示事項。二、國體本義之明徹。一、公民科之教授徹底。一、實業學校規則改正之趣旨徹底。一、學校衛生劃新。一、始政四十周年紀念事業。又注意事項。一、參考圖書使用。二、生徒寄生訓練。一、寄宿舍傳染病豫防。一、學校秒日豫防。一、紀念事業。

文山炭礦瓦斯爆發

卽死四名失踪五名

文山郡新店庄大坪林字七張泉利商會經營文山炭礦。去二十六日午後一時半。在同事務所。念餘名。于二十四外二名卽死。以外五名。生死不明。第以卽死者。四人燒死狀態推之。其五名想亦燒死。該從事工人。概屬壯丁。家有妻子頗爲苦痛云。

全島實業大會

博覽會中開於臺北

臺北商工會。去二十六日午後一時半。在同事務所。提出議題等。臺北有商工會。實業會。商業會。總商會。商工協會五團體。

秦德純氏訪土肥原少將

正式面交回答文書

事件全然解決

秦德純氏二十七日午前十時十五分。訪我北平武官室。對土肥原少將。面交我方要求一切承認之正式回答文書。關察哈爾事件。另行謝罪。事件全然解決。七日北平急電云。

解決形式

簽印手續省略

二十七日。察哈爾問題。最後解決形式。我方解決條件。到於文書。面交華方代表秦德純氏。秦氏受之。而認回答文書。卽承認一切條件。正式簽印等手續省略。二十七日北平急電云々。

高雄三公訓導

俊報告後
州欲善處

既報高雄第三公學校訓導陳水。紛失授業料。將兒童八十名。禁不敬室。吳鐵城氏。要求之事如左。

一、該事件時取消。

一、犯人處罰。

一、吳市長謝罪。

華方二十六日午後。正式回答存對總領事。要求條件全部承認。而該不敬記事。須撤消。

臺南州下
借入低資
分攤額決定

臺南州。本年度儲保局低資貸出分攤額。總計二十八萬一千圓。各市郡分攤額如左。

▲臺南市　市營住宅建築費十萬圓。臺南市實公學校改築費六萬六千圓。臺南魚市場移轉改築費二萬圓。計十八萬六千圓。

▲虎尾郡　水道布設施設費一萬五千圓。市場移轉改築費三萬圓。計四萬五千圓。

▲北門郡　市場改築費五萬圓。

努力復興
成好部落
總督視察談

中川總督。去二十四、五、六三日間。視察新竹。臺中兩州下震災地復興狀況。二十六日午後七時四十分無事歸北。據云此番頒遭未曾有災害。深感災害不安。呆然自失。然二現其境。即兒官民一致。努力復興。誠可實現矣。藉此機會。向罹災地官民。表慰問之意。

全島實業大會

博覽會中開於臺北

臺北商工會。去二十六日午後一時半。在同事務所。提出議題等。臺北有商工會。實業會。商業會。總商會。商工協會五團體。

秦德純氏訪土肥原少將

正式面交回答文書

事件全然解決

秦德純氏二十七日午前十時十五分。訪我北平武官室。對土肥原少將。面交我方要求一切承認之正式回答文書。關察哈爾事件。另行謝罪。事件全然解決。七日北平急電云々。

解決形式

簽印手續省略

二十七日。察哈爾問題。最後解決形式。我方解決條件。到於文書。面交華方代表秦德純氏。秦氏受之。而認回答文書。卽承認一切條件。正式簽印等手續省略。二十七日北平急電云々。

高雄三公訓導

俊報告後
州欲善處

既報高雄第三公學校訓導陳水。紛失授業料。將兒童八十名。禁不敬室。吳鐵城氏。要求之事如左。

一、該事件時取消。

一、犯人處罰。

一、吳市長謝罪。

華方二十六日午後。正式回答存對總領事。要求條件全部承認。而該不敬記事。須撤消。

國民經濟振興方策

內審第一號諮問案附議

有意於明年度豫算實行

東京二十七日電。內閣審議會第三回總會。來二十八日午後開之。首相官邸。諮詢第一號審議方法。竝諮問第一號。更議議立中央、地方財政改善方案。設特別委員會。而答申案一部。至晚可於明年度豫算。具體而行。頗開特別委員會至選。至九月頃。終了對策。且政府諮問第一號。只限財政問題。有不合我國社會情勢之歸趨處。第一號諮問案。有意提出。我國經濟振興方策。但第一號諮問案。關財政問題。有得

文山炭礦瓦斯爆發

卽死四名失踪五名

文山郡新店庄大坪林字七張泉利商會經營文山炭礦。去二十六日午後一時半。在同事務所。念餘名。于二十四外二名卽死。以外五名。生死不明。第以卽死者。四人燒死狀態推之。其五名想亦燒死。該從事工人。概屬壯丁。家有妻子頗爲苦痛云。

目下鉱意研究。其項目錄左。

一、財政稅制整理。

一、特別會計法人一般會計關題。

一、公債低利借換。其他稅負緩和改善。

一、地方稅制改善。

一、國家財政與地方財政之關係。

一、國庫補助金。

一、其他財政上之具體意見。

臺南州下
借入低資
分攤額決定

臺南州。本年度儲保局低資貸出分攤額。總計二十八萬一千圓。各市郡分攤額如左。

▲臺南市　市營住宅建築費十萬圓。臺南市實公學校改築費六萬六千圓。臺南魚市場移轉改築費二萬圓。計十八萬六千圓。

▲虎尾郡　水道布設施設費一萬五千圓。市場移轉改築費三萬圓。計四萬五千圓。

▲北門郡　市場改築費五萬圓。

努力復興
成好部落
總督視察談

中川總督。去二十四、五、六三日間。視察新竹。臺中兩州下震災地復興狀況。二十六日午後七時四十分無事歸北。據云此番頒遭未曾有災害。深感災害不安。呆然自失。然二現其境。即兒官民一致。努力復興。誠可實現矣。藉此機會。向罹災地官民。表慰問之意。

全島中校長會議

廿七日開于督府

出席者三十四名

全島中等學校長會議。于二十七、八兩日。開于督府正廳。出席校長。臺灣北高校。中學校。師範。高女。實業學校等三十四名。

附識指示事項。二、國體本義之明徹。一、公民科之教授徹底。一、實業學校規則改正之趣旨徹底。一、學校衛生劃新。一、始政四十周年紀念事業。又注意事項。一、參考圖書使用。二、生徒寄生訓練。一、寄宿舍傳染病豫防。一、學校秒日豫防。一、紀念事業。

臺灣日日新報

本日夕刊共十六頁　定價一箇月金五十錢　送料十錢　廣告料　普通一行一圓　特別一行一圓五十錢　割引一割

社屋移轉　大井廣記　ビールイ

▼靜けき空（短歌）……穐沼空
▼敍事詩・情詩・短歌……茅野蕭々
▼偶然論と短歌……石原純
▼短歌鑑賞記　▼短歌五首

九官鳥（短歌）　長谷川如是閑

▼萬葉人の漁獵　▼夏山の恩ひ出（ハイ歌壇）　宮城定雄

作品五十……今年歌壇半歲の感想……諸家

▼歌と宗教……佐佐木信綱
▼歌の形態とその變遷……折口信夫
▼現歌の形態と特質……窪田空穂
▼歌の内容……窪田空穂
▼歌と和歌革新……小泉苳三
▼明治と散文の距離……吉田精一
▼萬葉集の綜合研究……佐佐木信綱
▼詩と文學の關聯……西田直二郎
▼詩歌と音樂……藤原相之助
▼歌と繪畫……森本六爾
▼歌集……山谷蕗子　▼歌集……秋鴻
▼歌集……土屋文明　▼歌集……里見弴
▼歌集……太田水穂　▼歌集……木村
▼批評……古田東朔　▼批評……東村
▼歌壇の地理的研究について……折口信夫

定價一箇月三十錢　送料十錢

七月號出來　特價七十錢・送料三錢

短歌研究

東京商工會議所調査課編（最新刊）

世界景氣年報

一九二四年度及一九二五年上半期

世界各國に於ける經濟變動の實狀とその影響の探究と本年報に於ては一九二四年度の經濟變動の實狀とそれによつて諸方面の影響とを詳細且つ正確に網羅し報告し分析批判を中心とする本邦に於ける經濟變動の基礎資料である。一九二四年度の概觀を卷頭に載せ、一九二四年上半期の經濟變動を詳述し、一九二四年下半期の經濟變動の概觀を卷末に載せ、一九二四年度の經濟變動を總觀するに便ならしめた。

目次
第一編　最近世界經濟の動向
第二編　アメリカ合衆國
第三編　イギリス
第四編　ドイツ
第五編　フランス諸國
第六編　各國通貨問題
第七編　各國財政
第八編　各國金融
第九編　各國貿易
第十編　各國交通
第十一編　各國勞働
第十二編　各國農業
第十三編　各國工業
第十四編　各國鑛業
第十五編　各國商業
第十六編　各國植民地
第十七編　各國人口
第十八編　各國物價
第十九編　各國財界
第二十編　各國經濟政策
第二十一編　各國經濟機關

定價一圓二十錢　送料十錢

俳句研究

日本農業年報

最新刊

一九二四年　下半期

農産物販賣統制問題

定價一圓七十錢　送料十錢

諧曲全集

第一卷　六月廿五日發賣

諧曲日本躍進の歡喜

文化日本を象徴する劃期的名著

諸名士絶讚の熱烈至誠愈々揚る

本全集の刊行に觸發されて、ラヂオにレコードに實演に日々の能評に、諧能の隆盛は愈々大を加へ、終には五百年の傳統を守れる此の大藝術も近代科學の脚光を浴びてトーキーにまで進出し近く西歐文化を暗黒たらしむべく輸出されんとしてゐるが、他方此の躍進と呼應して、中・老年は愚か、俄然靑年生靑少年の間にまで進出し、而も之を吟唱する者が從來のやうに單に師範の諧ひ方をそのまゝ鸚鵡返しに眞似するやうな笑ふべき態をやめ、——是では何時までも諧ひが分る筈はないし、聞かされる他人も、お經を唱へられてをるやうで不快でたまらぬ——一曲の主題を念頭に置き、その構成を考へて之を諷誦する素晴らしい傾向を産むに至つた。この新傾向は明らかにその流行の本格的となれるを證するもので、本全集は卽ち此の新傾向への飛躍的不可缺な、謂はばホルモンなのである。

（其なり各流各派の諧文藝界の權威や諧の大家も名を連ねての全面的協力で編輯し、且つ一冊に一册を缺くを（各巻見本全圖有名書店にあり）

論より證據！實物を見よ！

本全集は學問的見識と藝術的批判とを兼備せる絶對信を措くべき定本（故人の諧曲）にして、五世紀間外不出なりし巨壁を一般民衆の手に渡せるものであり（諧曲藝術の寶庫）而も現代に潤歩し萬代に不朽なるもの（故人の諧曲）蓋し本全集を座右に備へずして徒らに諧曲を吟唱するは「國語讀みの論語知らず」の誇を免れず（諧曲の寶庫）正に紳士淑女が教養の聖書たるばかりでなく、學徒としては須臾も書架に缺かされぬ辭典的寶典である。

本全集が日を經るに隨つて愈々好評を加ふるも故なしとしない。聆より諧曲藝術に關する有名書店に於て實物を見られよ

第一卷（日本中）

申込方法至極簡單

一、豫約申込者のみに頒つ
一、毎月一冊一圓配本、毎月廿五日（申込金五十錢——是は送料共）
二、（申込金五十錢——是は送料共）會費に繰入）及送料十四錢（一時拂十圓（申込金不要）及送料八十四錢。
一、締切六月末日

諧能學壇の寶庫
國野上豊一郎著
畢生の大著

各巻裝幀別
豪華全六巻
麗大型
約募集中
各冊三圓
拂一時十圓

東京麹町丸ビル　振替東京三四　中央公論社刊行

怪談全集

全二巻

朝日圓

最新刊

さすが怪談の花形　夏の人氣獨占!!

近世人情噺の名人圓朝の怪り日の名口演をそのまゝに怪談牡丹燈籠・鏡ケ池操松影・眞景累ケ淵・怪談乳房榎等々どれを見ても皆一粒選りの怪談ばかりを集めた本書はあらふたゞの怪談とは訳が違ふ。名人圓朝の優やかな人情噺の中に織り込まれたこれらの怪談は眞に迫つてゐるし、身の毛もよだつ凄さ！眞夜中にカラン コロン〳〵と響く女の下駄の音、大雨の夜に植込の陰から縁側に這ひ上らうとする痩せ枯れた老婆の姿、寮宿をしながら恨めしさうに聲をかける按摩の亡靈……此等は演劇や映畫で出さぬ優美、これこそ名人圓朝の三昧。これはとても夜は獨りでは讀めぬ、だが讀み出したら夏の夜の短かさが恨めしいと何んと何處まで讀んでも盡きぬこの不思議な面白さ！（四六判上製・定價一圓三十錢・送料一冊十四錢）

發行所　東京新橋八丁目七番地　改造社

三共の藥品　その優秀と信賴に依る藥品であり、三共の藥品を御用ひ下さい。

胃腸にオリザニン

卽氣にオリザニンを用ふれば、速かに治に就かしめ得るは、多數實驗諸家の報告に照して疑ふの餘地なきところなり

オリザニンは又、胃腸の外、人體必須の副榮養素として種々の場合に貧用せらる

(1) 熱性病者の榮養保持に、食慾不振に　(2) 妊婦便秘妊娠嘔吐に、妊産婦卽氣に　(3) 泌乳不全に　(4) 虛弱兒の健康並に發育增進に　(5) スポーツマンの心臟力保持に、疲勞恢復に

（藥劑書進呈）

錠、エキス、錠、末、注射液各種

社會式株共三　東京日本橋區本町

劑血止

肺臟及脾臟抽出

血液凝固催進性物質にして効力奏現迅速且つ持續性に富み　何等の副作用なく　價格低廉なり

藥價	10瓦	.50
	25瓦	1.50
	50瓦	2.70
	100瓦	5.00
	500瓦	22.50

醫家に與り文獻集呈

社會式株藥製友吉吉
東京日本橋區本町　大阪東區道修町

T18

ダイサルックス

台北　近藤商會發賣
台南

BAYER　製造バイエル製

理想的催眠鎭靜劑

アダリン錠

(5,5-二乙基巴比土酸)

"Bayer" Medicinal Products
バイエル・マイステル・ルチウス
藥品合名會社

エキストラ

空管

マツダ

特長
一、マツダ真空管は其道一の權威研究所に於て永年苦心研鑽せるものなり。
二、感度、分離に卓越し遠距離受信に最適。
三、音質、音量は最良理想にして、よく肉聲と再現す。
四、壽命長く且つ經濟的の真空管なり。

マツダ

圖畫だ　全國藥店にあり　₹0.30　₹0.50　₹1.00　₹2.00

病人の食物

カニ鑛乳手製

二十五

夕島浦信一郎
儀病氣療養中ノ處養生不相叶昨日午前零時二十分逝去仕リ候間生前厚知諸彦ニ謹告仕リ候也
追而葬儀ハ來ル二十九日午後一時ヨリ自宅ニ於テ執行仕候間此段申添候也
大正十四年六月二十七日
喪主　虎夫
葬儀委員
牧田久太郎　岡崎文雄　部政一　浦磯精　島貞雄

會葬御禮

福山焼吉

流線型

スピーデイな運筆
スピーデイな型

₹2.00
₹2.50
₹3.00

萬年筆

製造元　大阪市東區北久太郎町四丁目　阪田製作所

●頭痛にノーシン●

臺灣と防空設備の一進展

地上部隊の充實は尚遼遠か

一

時局に刺戟されて、今回臺灣の地に新しく飛行一個隊の増設を見る事となり、屏東の飛行第八聯隊を含せて二個の飛行聯隊を持つ事となつたことは、本島の防空施設上誠に結構に堪へぬところである。この結果として飛行師団司令部も自然に設けられ、同時に航空機の購入費を補給する補給廠の支廠等も設かるべく、更に高射砲隊等の新設も見らるることで、空上より之を迎へ撃つ事に依て一段と強く感ぜらるる次第である。

二

際に今回の新設飛行聯隊は、偵察を中心とするもので、在來の屏東聯隊のソレと異り、臺灣を中心として帝國國防上の脱みが南海に及ぶものである。從に始めて四隊より脱それ程の臺灣が、空より之を迎へ撃つ事に依て一段と強く感ぜらるる次第である。

二

際に今回の新設飛行聯隊は、偵察を中心とするもので、在來の屏東聯隊のソレと異り、臺灣を中心として帝國國防上の脱みが南海に及ぶものである。從に始めて四隊より脱それ程の臺灣が、空より之を迎へ撃つ事に依て一段と強く感ぜらるる次第である。

三

實は他新設聯隊の設置場所に就ては新竹、臺中、臺南、高雄の各州の切なる陳情もあり、中には國分氏烈な運動を續けた市民大會迄を開いた程であつた。之は地元に一個の飛行聯隊を持つといふ事が地方民の誇りとなり、且心強くも感ずる次第で、必ずしも土地買收費の負擔による飛行場いり如き問題でなく、臺灣の地上にさへ設けられてあれば何處にあつたとて全島の防空に支障を來す譯のものでないさうだが、素人眼は然う簡單に片付け得られぬ點があり、高射砲隊くらゐは北部地方に設けて欲しいとの國民もあるやうだ。そは兎に角として臺灣が二個の飛行聯隊を持ち、飛行隊の一個旅團が此地に常駐され、從て多くの將兵に對し其方面特線を開發するの基準が定められたことに就ては慶に帝國のため慶祝に堪へない。

四

實をいふと飛行聯隊は、之で高雄及び臺南附近の防空は安泰の感あるも、臺北は尚ほ全く無防備の狀態にあるので、之が對策として新聞社等北部は勿論も細い感を持つ臺北州等北部は勿論も細い感を持つ臺北州等北部は勿論も細い感を持つ臺北州

救ひの情けに
依頼心が高まる
彼等の反省を促がすために
(上)
整地費豫算を全部削除

市當局の震災復興状況は目下大體順調に進捗中であるが、一般市民の方が復興の意氣が昭和初年の頃の如く振興されない。これは當局の積極的な施設に缺ける點もあるが、一面市民自身の自覺にも缺ける點があるからである。

× × ×

銀行と商業組合に對する融通問題は新竹州にも關係があるので、一應當州下の實情を述べて見よう。

× × ×

これを總括的に言へば、震災後一ヶ月までは各々の施設も多く熱心でやって來たものゝ、夫れ以後は漸次に熱意を缺いて來たやうな傾向である。

× × ×

新竹州下の復興狀況に就て、これを比較的詳しく述べることは各地方の民度や地方

(寫眞)　拱手傍觀して未だに放置してある震災家屋

嘉義の市民ら
大祝賀會を開催
飛行隊 設置公表と同時に

【嘉義電話】二十七日午前八時嘉義神社に正式參拜した川添市長初め市役所飛行場設置期成會役員一行は午前九時嘉義座會館に於ての祝賀會に於て二十分間に亘る感激の裡に左の通り打合せを了した

一、決定公表と同時に市のサイレンを三回鳴らし市民に知らせ、翌朝祝賀飛行を實施する事

一、公表の當日市役所飛行場期成同盟會員は午前九時嘉義座會館に參集し、夫れから一團となって神社に參拜する事

一、當日は學校生徒兒童の旗行列を行ふ事

夜間は提燈行列を行ふ

一、觀衆者を網羅しての祝賀會は適當の時期に之を行ふ

祝賀會役員は左記の諸氏に決定した

委員長　川添市尹
副委員長　飛行場除期期成同盟會員長　早川眞義氏
委員
州協議會員代表　眞木勝次氏
市協議會員代表　藤迫忠吉氏
實業界代表　井上敬氏
商工會代表　小西國平氏
商業協會代表　陳朝庶氏

青年を集めて
産業の指導
地方振興の爲に

【苗栗電話】苗栗青年團では今回新たに法院支部廳舍住宅に隣る爲め千餘九萬圓を以て廣壯住宅二十八戸を新築する計畫を樹てたが、その計畫は豫定の如く昨年度より各々の敷地を買收し、本年度に於て二戸宛の割合で建築する豫定であったが、その後豫期の如く進捗せず、僅かに一戸を新築したのみで、殘餘の二十七戸は今年度に繰越すことゝなった

街營住宅
行きなやむ
低資借入捗らず

【花蓮港電話】花蓮港街營當局では今回新築された法院支部廳舍住宅に隣る爲め千餘九萬圓を以て廣壯住宅二十八戸を新築する計畫を樹てたが、その計畫は豫定の如く昨年度より各々の敷地を買收し、本年度に於て二戸宛の割合で建築する豫定であったが、その後豫期の如く進捗せず、僅かに一戸を新築したのみで、殘餘の二十七戸は今年度に繰越すことゝなった

前年よりも
五萬餘圓の減收
雨のために黃色葉煙草の
"被害"が甚大"

【花蓮港電話】花蓮港廳下の黃色葉煙草栽培區域の葉の發育を本年一月下旬より二月上旬に亘って降雨が多かったので、葉の發育が不良であるばかりか、病害蟲の發生が多く、從って收穫高も前年に比し約五萬圓の減收となる模樣である

生活苦から遂に
千二百餘圓を費消
嘉義署會計係巡査

【嘉義電話】嘉義署會計係物務擔當巡査○○○○は去る五月外勤係に轉じ世間から種々と噂されてゐたが、實は署の義務的貸金貳千三百圓を引込んでゐることが發覺した、事情を聞けば職の如く全く遊興費等に供したのに非ずして、生活苦から止むなく遂に犯したものゝ如く、尚ほ同人は十四日附を以て依願免官となった

人妻を襲つた痴漢
高雄川で遂に溺死
物騷な高雄の昨今

【高雄電話】二十六日午後九時頃高雄市田町ノ四岡村某の妻あさ子(二)が田中橋より約二百米上流の高雄川に投身自殺を遂げたので、警察署では直ちに捜索したが、遂に發見するに至らなかったが、翌二十七日午前十時頃同町の下流約二百米の地點に於て發見し、直ちに高雄病院に運んだが既に死亡してゐた、尚ほ同人は二十六日午後七時頃同町の自宅を出でたまゝ行方不明となったので、家族より水上署に出でのモーター船を出して捜索したが發見に至らず、遂に家族一同は、あさ子が平素病弱の爲め發作的に投身したものと判斷し、二十七日午前十時頃より同署員二名も出でて捜索したが、遂に發見するに至らなかったが、午後二時頃に至り、同人の實家である岡山縣より急電に接し、一同は愕然として悲嘆の涙に暮れてゐる

大格鬪の末
遂に捕はる
恐喝竊盜の兇狀持

【嘉義電話】二十六日嘉義市中町一丁目一番地、陳順利こと陳順利(二)は、昨年以來嘉義市内に出沒し、數回に亘り金品を强奪して來たが、二十六日午前二時頃市内某所に於て、同人が同棲中の情婦を連れ出さんとするを發見し、之を制止せんとするや、同人は所持の短刀を以て同巡査に切りつけ、同巡査は之に應戰して格鬪の末、遂に同人を逮捕したが、同巡査も亦た相當の負傷をなしたるが、幸ひ生命には別條なかった、尚ほ同人は昨年以來嘉義市内に出沒し、數回に亘り金品を强奪して來たが、二十六日午前二時頃市内某所に於て、同人が同棲中の情婦を連れ出さんとするを發見し、之を制止せんとするや、同人は所持の短刀を以て同巡査に切りつけ、同巡査は之に應戰して格鬪の末、遂に同人を逮捕したが、同巡査も亦た相當の負傷をなしたるが、幸ひ生命には別條なかった、尚ほ同人は二十六日總督府令發布と共に一般に通達した高雄州下の竊盜犯人中、最も兇惡なる常習犯人として、警察官の手により逮捕されたものである

わが海軍の使命と
"勝面戰"の備へ

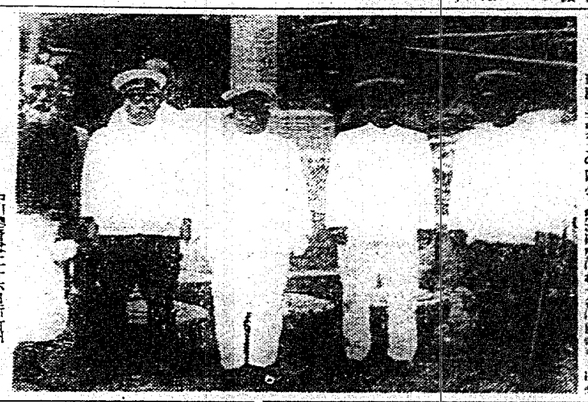
海軍大佐　久保九次

(一)

(二)

(三)

中川總督視察



中川總督は二十六日新竹州下の視察途中を寫した【嘉義は總督の誕生地】

猪口前郡守の頌德碑を建立

【嘉義電話】去る二月病歿嘉義郡守猪口前郡守が在職十八年間の施政に對し世間から絶讃されてゐたが、戰後の義務的貸金貳千三百圓を引込んでゐることが發覺した、事情を聞けば職の如く全く遊興費等に供したのに非ずして、生活苦から止むなく遂に犯したものゝ如く、尚ほ同人は二月病歿嘉義郡守猪口前郡守が在職十八年間の施政に對し世間から絶讃されてゐたが、戰後の義務的貸金貳千三百圓を引込んでゐることが發覺した、事情を聞けば職の如く全く遊興費等に供したのに非ずして、生活苦から止むなく遂に犯したものゝ如く、尚ほ同人は

牛の密屠殺犯人へ
罰金一萬五千圓

青年團の
山中に内地人
の行き倒れ

【花蓮港電話】矢張と矢張のうさぎ狩に參加せんとして花蓮港を出發したが、その途中、玉里驛より約二里半の山中に於て、内地人の行き倒れを發見したので、玉里署に於ては直ちに出張して調査したが、その内地人は年齢四十歳位、身長五尺二寸位、中肉中背、顔面蒼白、口髭を生やし、服裝は國民服に巻脚絆を着け、地下足袋を穿き、ゴム引の雨具を携帯してゐたが、所持品は何等發見されず、又身元も判明しないので、玉里署に於ては目下取調中である

學校あらし捕はる

【嘉中電話】去る小公學校等に對し、夜間忍び入り、金品を盜んでゐた嘉中市老松町五の一手傳某(二)こと取調べの結果、同人は三月頃より約二十餘回に亘り、合計金二千餘圓を盜んでゐたことが判明したので、嘉中署に於ては二十七日午前十時頃同人を檢擧した

豪中に又流賊
一時騷然

【嘉中電話】一時騷然を傳へた嘉中州下の流賊は、其の後下火となり、市民には安堵の胸を撫でてゐたが、二十六日嘉義地方法院入院中の嘉中市老松町七ノ二七番乙口良子(二)が、昨夜八ケ月)が腹膜炎と決定、直ちに大病を行つた

二つの旅行團を
組織

【花蓮港電話】臺灣旅行倶樂部花蓮港支部では今回鯉井公氏を支部長に推薦し、現在花蓮港線を統轄する事務長に其の他夫々役員を決定したので第一回の試みとして來月中旬迄知本の溫泉めぐりと秀姑巒溪の川下りで臺東に出る二つの旅行團を組織し、希望者を募集の由である

人事

△中原觀察官(高雄州警部)(高雄電話)臺南州警部に轉任した(高雄二十七日發電)

地方色

新竹

嘉義署會計係巡査
千二百餘圓を費消
嘉義署會計係巡査

六人組竊盜團の
一味捕はる

【嘉義電話】臺灣某中島某(二)外十二名の一味は、昨年十二月二日に係る牛密屠殺事件に關し、嘉義警察署に於て取調べ中の所、この程二十五日に至り、更に新たに同一味の者として、前記中島某(二)外二名を檢擧取調べ中であるが、右は總勢十數名と稱し、

三人組の與太者
捕はる

【嘉義電話】警(二)山形縣生れ松本某(二)外二名は、去る二十一日午後一時頃、嘉義市内に於て、同市某(二)に對し、因縁を附けて金品を强奪せんとしたが、同人の抵抗に遭ひ、遂に目的を達せず、逃走したが、同署に於ては、直ちに手配の結果、同日午後三時頃、同市内に於て、右三名を逮捕した

山中に内地人
の行き倒れ

【花蓮港電話】矢張と矢張のうさぎ狩に參加せんとして花蓮港を出發したが、その途中、玉里驛より約二里半の山中に於て、内地人の行き倒れを發見したので、玉里署に於ては直ちに出張して調査したが、その内地人は年齢四十歳位、身長五尺二寸位、中肉中背、顔面蒼白、口髭を生やし、服裝は國民服に巻脚絆を着け、地下足袋を穿き、ゴム引の雨具を携帯してゐたが、所持品は何等發見されず、又身元も判明しないので、玉里署に於ては目下取調中である

六人組竊盜團の
一味捕はる

【嘉義電話】臺灣某中島某(二)外十二名の一味は、昨年十二月二日に係る牛密屠殺事件に關し、嘉義警察署に於て取調べ中の所、この程二十五日に至り、更に新たに同一味の者として、前記中島某(二)外二名を檢擧取調べ中であるが、右は總勢十數名と稱し、

三人組の與太者
捕はる

【嘉義電話】警(二)山形縣生れ松本某(二)外二名は、去る二十一日午後一時頃、嘉義市内に於て、同市某(二)に對し、因縁を附けて金品を强奪せんとしたが、同人の抵抗に遭ひ、遂に目的を達せず、逃走したが、同署に於ては、直ちに手配の結果、同日午後三時頃、同市内に於て、右三名を逮捕した

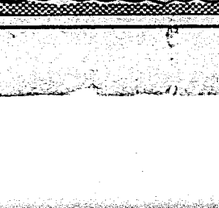
アキビン泥棒

【嘉義電話】北港郡元長庄某(二)八日の夜半頃、その隣家の同庄某(二)方に忍び入り、金品を盜んで逃走したが、同署に於ては、直ちに手配の結果、同日午後三時頃、同市内に於て、右三名を逮捕した

山中に内地人
の行き倒れ

【花蓮港電話】矢張と矢張のうさぎ狩に參加せんとして花蓮港を出發したが、その途中、玉里驛より約二里半の山中に於て、内地人の行き倒れを發見したので、玉里署に於ては直ちに出張して調査したが、その内地人は年齢四十歳位、身長五尺二寸位、中肉中背、顔面蒼白、口髭を生やし、服裝は國民服に巻脚絆を着け、地下足袋を穿き、ゴム引の雨具を携帯してゐたが、所持品は何等發見されず、又身元も判明しないので、玉里署に於ては目下取調中である

一歩進んだ皮膚病藥
痒い！痛い！醜い！
不快な皮膚病に今スグ……
ヒンターをお試しあれ！
◎ヒンターの特長
ヒンターは綿花の實の脂肪と蜜蠟とを原料として作った新しいクリーム狀の皮膚藥であります。ヒンターをお使ひになれば、たとへ一つかずつ數箇所の皮膚病でも、しの數箇所も、皮膚にムラなく吸收されて美しい皮膚になります。ヒンターは無色透明で、しかも香料が入ってゐますから、いやな臭ひもなく、皮膚病特有の不快な、皮膚のつまみ等を感じません。
主效　たむし、みづむし、いんきん、疥癬(かいせん)、あせも、とびひ、ただれ、ひぜん、しつ、しらくも、はたけ、ふきもの、かぶれ、あせばなまで、かみそりかぶれ、水はうそうの皮膚病
▼定價　二十錢　三十錢　五十錢　一圓
發賣元　守田寶丹本舗
本店　東京市下谷區池之端仲町
出張所　東京　京二九八五番
支店　大阪市南區長堀橋二丁目
電話　大阪五七七三九番
C全國著名藥店にあり



防げ惡疫を
備えよ急病に
旅行に家庭に
寶丹の活用を！
消化・殺菌・救急
三大藥効發備・萬人必備の護身藥
キセル
メヒカリ
本位
寶丹
◇適飲藥に
◇消化藥に
◇氣つけに
◇胃腸藥に
◇時候中りに
◇旅行藥に
◇船車の酔に
◇食當りに
◇下痢に
寶丹の活用は
東京・大阪　守田治兵衛

天使

(119)

横光利一

宮田重雄畫

十の十一

茶が出たとき、兵衛は女中に、食事は後から運ばせるからと命じて席を立つた。

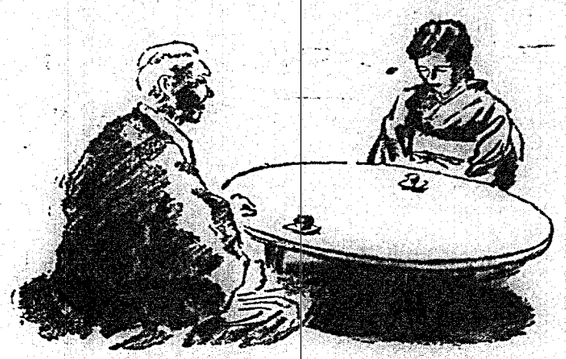
「お膳がお茶をせかけれども、お話を暫く伺ひしてから、御ゆつくり召し上つていただくことにいたしまして、そして実は、ちよつと御相談に預つてもらひたいことがございまして、」

兵衛も話の緒口に困つたらしくゆつたりとはしてゐたが、貴一は相談に預れてゐた。

「わたくしこそ、いろ〳〵御心配をおかけ申しまして、申し訳ございません。」

と節子は小聲で、はつきりと云つた。

「いえ〳〵。そ、お呼び出しいたしましたのも、他でもございませんが、この度、醫雄の家内の京子の實家が、甚だ不幸な目になりまして、醫雄の看目をみるやうになりましたのですが、私の家は、あらを申し上げますと、實は、京子の實家から、いろ〳〵と前に助けられてゐるやうな、面目ない事がございますので、どうしても今度は、私の方が、最も非でも、何とかこれを両のやうにしなければ、世間への顧出しになりませんものですから、私も昨日昨夜、考へてをるので、そ、そのやうな際でありますから、京子と醫雄とを離縁いたしますと、ふことは、私としましては、恐べないことでありまして、無理にもこれを、前のやうに、家庭を持たせるやうにしたいと、かう思つたものですから、それで、甚だ厚顔なことで、何とも申しやうがございませんがここを一つ、兵衛様へ、それと、實は恩ひまして、御足労をおかけ申したやうな、大変でありますが、かすかに撲へをおたのみ、醫つてゐた節子は、美貌に輝く御顔を



「それで、御相談と申しますのも私の方だけから、兵衛さんと申しまして、何かあなたの方にも、御都合や御希望がございましたら、受け給つて、なるだけ御希望に添ひたいと、こゝやうに思ひまして、およびして申しましたやうなわけでございますから、どうぞ、御遠慮なく、御意見を仰言つていただけないものでせうか。」

兵衛の顧色を、瞬つきさせて云ふやうな、この思ひ振りには、節子も、聞立たしさへ感じなかつた。彼女は、しばらく黙つてゐてから云つた。

「あのう、あたくし、醫雄さまとお別れしましたときに、御手紙をいただきましたのでございますがそれには、父上がいづれお前の所へいらつしやるだらうから、そのときのお返事は、自分に任せてあるやうにお返事せよと、ただそれだけ書いてございましたものですから、今はあたくしの申し上げますことも、それ以外には、何とも御返事出來かねるのでございますが」

「さうでございましたの。なるほど。しかし、これは返すべき筋いことですけれども、實に、醫雄はもう京子と一緒に暮すやうなことを、云つてをりましたので、それで私は、醫雄に代りまして、お詫かたく思つたやうな次第でございますが、まだ醫雄からは、何とも御挨拶がありませんでしたか。」

「えゝ。」

節子は急に悲しみと変りが、こみ上げて來て、聲でしまつた。

「さうでございましたの。なるほど。しかし、これは返すべき筋いことですけれども、實に、醫雄はもう京子と一緒に暮すやうなことを、云つてをりましたので、それで私は、醫雄に代りまして、お詫かたく思つたやうな次第でございますが、まだ醫雄からは、何とも御挨拶がありませんでしたか。」

「えゝ。」

節子は急に悲しみと変りが、こみ上げて來て、聲でしまつた。

ラヂオ

午前の部

【六・〇〇】體の體操（ラヂオ體操）

【六・一〇】今日のお天氣のお知らせ（氣象臺發表）

【六・二〇】報時（東京）

【七・三〇】全國農事實況（東京）

【八・〇〇】家庭の時間（東京）

【八・三〇】實用の時間（東京）第一講…農業と農村（東京）第二講…農業と農村（東京）第三講…農業と農村（東京）

【一〇・一〇】農事實況（東京）

【一〇・二〇】農事實況（東京）

【一一・〇〇】農事實況（東京）

【一一・三〇】農事實況（東京）

【一二・〇〇】正午の時報（東京）

【一二・一五】正午の時報（氣象通報）（氣象臺報）

【一二・二〇】農事實況（東京）

【一二・三〇】農事實況（東京）

【一二・四〇】農事實況（東京）

【一二・五〇】農事實況（東京）

【一三・〇〇】農事實況（東京）

【一三・一〇】農事實況（東京）

【一三・二〇】農事實況（東京）

【一三・三〇】農事實況（東京）

【一三・四〇】農事實況（東京）

【一三・五〇】農事實況（東京）

【一四・〇〇】農事實況（東京）

【一四・一〇】農事實況（東京）

【一四・二〇】農事實況（東京）

【一四・三〇】農事實況（東京）

【一四・四〇】農事實況（東京）

【一四・五〇】農事實況（東京）

【一五・〇〇】農事實況（東京）

【一五・一〇】農事實況（東京）

【一五・二〇】農事實況（東京）

【一五・三〇】農事實況（東京）

【一五・四〇】農事實況（東京）

【一五・五〇】農事實況（東京）

【一六・〇〇】農事實況（東京）

【一六・一〇】農事實況（東京）

【一六・二〇】農事實況（東京）

【一六・三〇】農事實況（東京）

【一六・四〇】農事實況（東京）

【一六・五〇】農事實況（東京）

【一七・〇〇】農事實況（東京）

【一七・一〇】農事實況（東京）

【一七・二〇】農事實況（東京）

【一七・三〇】農事實況（東京）

【一七・四〇】農事實況（東京）

【一七・五〇】農事實況（東京）

【一八・〇〇】農事實況（東京）

【一八・一〇】農事實況（東京）

【一八・二〇】農事實況（東京）

【一八・三〇】農事實況（東京）

【一八・四〇】農事實況（東京）

【一八・五〇】農事實況（東京）

【一九・〇〇】農事實況（東京）

【一九・一〇】農事實況（東京）

【一九・二〇】農事實況（東京）

【一九・三〇】農事實況（東京）

【一九・四〇】農事實況（東京）

【一九・五〇】農事實況（東京）

【二〇・〇〇】農事實況（東京）

【二〇・一〇】農事實況（東京）

【二〇・二〇】農事實況（東京）

【二〇・三〇】農事實況（東京）

【二〇・四〇】農事實況（東京）

【二〇・五〇】農事實況（東京）

【二一・〇〇】農事實況（東京）

【二一・一〇】農事實況（東京）

【二一・二〇】農事實況（東京）

【二一・三〇】農事實況（東京）

【二一・四〇】農事實況（東京）

【二一・五〇】農事實況（東京）

【二二・〇〇】農事實況（東京）

【二二・一〇】農事實況（東京）

【二二・二〇】農事實況（東京）

【二二・三〇】農事實況（東京）

【二二・四〇】農事實況（東京）

【二二・五〇】農事實況（東京）

【二三・〇〇】農事實況（東京）

【二三・一〇】農事實況（東京）

【二三・二〇】農事實況（東京）

【二三・三〇】農事實況（東京）

【二三・四〇】農事實況（東京）

【二三・五〇】農事實況（東京）

【二四・〇〇】農事實況（東京）

【二四・一〇】農事實況（東京）

【二四・二〇】農事實況（東京）

【二四・三〇】農事實況（東京）

【二四・四〇】農事實況（東京）

【二四・五〇】農事實況（東京）

【二五・〇〇】農事實況（東京）

【二五・一〇】農事實況（東京）

【二五・二〇】農事實況（東京）

【二五・三〇】農事實況（東京）

【二五・四〇】農事實況（東京）

【二五・五〇】農事實況（東京）

【二六・〇〇】農事實況（東京）

【二六・一〇】農事實況（東京）

【二六・二〇】農事實況（東京）

【二六・三〇】農事實況（東京）

【二六・四〇】農事實況（東京）

【二六・五〇】農事實況（東京）

【二七・〇〇】農事實況（東京）

【二七・一〇】農事實況（東京）

【二七・二〇】農事實況（東京）

【二七・三〇】農事實況（東京）

【二七・四〇】農事實況（東京）

【二七・五〇】農事實況（東京）

【二八・〇〇】農事實況（東京）

【二八・一〇】農事實況（東京）

【二八・二〇】農事實況（東京）

【二八・三〇】農事實況（東京）

【二八・四〇】農事實況（東京）

【二八・五〇】農事實況（東京）

【二九・〇〇】農事實況（東京）

【二九・一〇】農事實況（東京）

【二九・二〇】農事實況（東京）

【二九・三〇】農事實況（東京）

【二九・四〇】農事實況（東京）

【二九・五〇】農事實況（東京）

【三〇・〇〇】農事實況（東京）

【三〇・一〇】農事實況（東京）

【三〇・二〇】農事實況（東京）

【三〇・三〇】農事實況（東京）

【三〇・四〇】農事實況（東京）

【三〇・五〇】農事實況（東京）

【三一・〇〇】農事實況（東京）

【三一・一〇】農事實況（東京）

【三一・二〇】農事實況（東京）

【三一・三〇】農事實況（東京）

【三一・四〇】農事實況（東京）

【三一・五〇】農事實況（東京）

【三二・〇〇】農事實況（東京）

【三二・一〇】農事實況（東京）

【三二・二〇】農事實況（東京）

【三二・三〇】農事實況（東京）

【三二・四〇】農事實況（東京）

【三二・五〇】農事實況（東京）

【三三・〇〇】農事實況（東京）

【三三・一〇】農事實況（東京）

【三三・二〇】農事實況（東京）

【三三・三〇】農事實況（東京）

【三三・四〇】農事實況（東京）

【三三・五〇】農事實況（東京）

【三四・〇〇】農事實況（東京）

【三四・一〇】農事實況（東京）

【三四・二〇】農事實況（東京）

【三四・三〇】農事實況（東京）

【三四・四〇】農事實況（東京）

【三四・五〇】農事實況（東京）

【三五・〇〇】農事實況（東京）

【三五・一〇】農事實況（東京）

【三五・二〇】農事實況（東京）

【三五・三〇】農事實況（東京）

【三五・四〇】農事實況（東京）

【三五・五〇】農事實況（東京）

【三六・〇〇】農事實況（東京）

【三六・一〇】農事實況（東京）

【三六・二〇】農事實況（東京）

【三六・三〇】農事實況（東京）

【三六・四〇】農事實況（東京）

【三六・五〇】農事實況（東京）

【三七・〇〇】農事實況（東京）

【三七・一〇】農事實況（東京）

【三七・二〇】農事實況（東京）

【三七・三〇】農事實況（東京）

【三七・四〇】農事實況（東京）

【三七・五〇】農事實況（東京）

【三八・〇〇】農事實況（東京）

【三八・一〇】農事實況（東京）

【三八・二〇】農事實況（東京）

【三八・三〇】農事實況（東京）

【三八・四〇】農事實況（東京）

【三八・五〇】農事實況（東京）

【三九・〇〇】農事實況（東京）

【三九・一〇】農事實況（東京）

【三九・二〇】農事實況（東京）

【三九・三〇】農事實況（東京）

【三九・四〇】農事實況（東京）

【三九・五〇】農事實況（東京）

【四〇・〇〇】農事實況（東京）

【四〇・一〇】農事實況（東京）

【四〇・二〇】農事實況（東京）

【四〇・三〇】農事實況（東京）

【四〇・四〇】農事實況（東京）

【四〇・五〇】農事實況（東京）

【四一・〇〇】農事實況（東京）

【四一・一〇】農事實況（東京）

【四一・二〇】農事實況（東京）

【四一・三〇】農事實況（東京）

【四一・四〇】農事實況（東京）

【四一・五〇】農事實況（東京）

【四二・〇〇】農事實況（東京）

【四二・一〇】農事實況（東京）

【四二・二〇】農事實況（東京）

【四二・三〇】農事實況（東京）

【四二・四〇】農事實況（東京）

【四二・五〇】農事實況（東京）

【四三・〇〇】農事實況（東京）

【四三・一〇】農事實況（東京）

【四三・二〇】農事實況（東京）

【四三・三〇】農事實況（東京）

【四三・四〇】農事實況（東京）

【四三・五〇】農事實況（東京）

【四四・〇〇】農事實況（東京）

【四四・一〇】農事實況（東京）

【四四・二〇】農事實況（東京）

【四四・三〇】農事實況（東京）

【四四・四〇】農事實況（東京）

【四四・五〇】農事實況（東京）

【四五・〇〇】農事實況（東京）

【四五・一〇】農事實況（東京）

【四五・二〇】農事實況（東京）

【四五・三〇】農事實況（東京）

【四五・四〇】農事實況（東京）

【四五・五〇】農事實況（東京）

【四六・〇〇】農事實況（東京）

【四六・一〇】農事實況（東京）

【四六・二〇】農事實況（東京）

【四六・三〇】農事實況（東京）

【四六・四〇】農事實況（東京）

【四六・五〇】農事實況（東京）

【四七・〇〇】農事實況（東京）

【四七・一〇】農事實況（東京）

【四七・二〇】農事實況（東京）

【四七・三〇】農事實況（東京）

【四七・四〇】農事實況（東京）

【四七・五〇】農事實況（東京）

【四八・〇〇】農事實況（東京）

【四八・一〇】農事實況（東京）

【四八・二〇】農事實況（東京）

【四八・三〇】農事實況（東京）

【四八・四〇】農事實況（東京）

【四八・五〇】農事實況（東京）

【四九・〇〇】農事實況（東京）

【四九・一〇】農事實況（東京）

【四九・二〇】農事實況（東京）

【四九・三〇】農事實況（東京）

【四九・四〇】農事實況（東京）

【四九・五〇】農事實況（東京）

【五〇・〇〇】農事實況（東京）

【五〇・一〇】農事實況（東京）

【五〇・二〇】農事實況（東京）

【五〇・三〇】農事實況（東京）

【五〇・四〇】農事實況（東京）

【五〇・五〇】農事實況（東京）

【五一・〇〇】農事實況（東京）

【五一・一〇】農事實況（東京）

【五一・二〇】農事實況（東京）

【五一・三〇】農事實況（東京）

【五一・四〇】農事實況（東京）

【五一・五〇】農事實況（東京）

【五二・〇〇】農事實況（東京）

【五二・一〇】農事實況（東京）

【五二・二〇】農事實況（東京）

【五二・三〇】農事實況（東京）

【五二・四〇】農事實況（東京）

【五二・五〇】農事實況（東京）

【五三・〇〇】農事實況（東京）

【五三・一〇】農事實況（東京）

【五三・二〇】農事實況（東京）

【五三・三〇】農事實況（東京）

【五三・四〇】農事實況（東京）

【五三・五〇】農事實況（東京）

【五四・〇〇】農事實況（東京）

【五四・一〇】農事實況（東京）

【五四・二〇】農事實況（東京）

【五四・三〇】農事實況（東京）

【五四・四〇】農事實況（東京）

【五四・五〇】農事實況（東京）

【五五・〇〇】農事實況（東京）

【五五・一〇】農事實況（東京）

【五五・二〇】農事實況（東京）

【五五・三〇】農事實況（東京）

【五五・四〇】農事實況（東京）

【五五・五〇】農事實況（東京）

【五六・〇〇】農事實況（東京）

【五六・一〇】農事實況（東京）

【五六・二〇】農事實況（東京）

【五六・三〇】農事實況（東京）

【五六・四〇】農事實況（東京）

【五六・五〇】農事實況（東京）

【五七・〇〇】農事實況（東京）

【五七・一〇】農事實況（東京）

【五七・二〇】農事實況（東京）

【五七・三〇】農事實況（東京）

【五七・四〇】農事實況（東京）

【五七・五〇】農事實況（東京）

【五八・〇〇】農事實況（東京）

【五八・一〇】農事實況（東京）

【五八・二〇】農事實況（東京）

【五八・三〇】農事實況（東京）

【五八・四〇】農事實況（東京）

【五八・五〇】農事實況（東京）

【五九・〇〇】農事實況（東京）

【五九・一〇】農事實況（東京）

【五九・二〇】農事實況（東京）

【五九・三〇】農事實況（東京）

【五九・四〇】農事實況（東京）

【五九・五〇】農事實況（東京）

【六〇・〇〇】農事實況（東京）

【六〇・一〇】農事實況（東京）

【六〇・二〇】農事實況（東京）

【六〇・三〇】農事實況（東京）

【六〇・四〇】農事實況（東京）

【六〇・五〇】農事實況（東京）

【六一・〇〇】農事實況（東京）

【六一・一〇】農事實況（東京）

【六一・二〇】農事實況（東京）

【六一・三〇】農事實況（東京）

【六一・四〇】農事實況（東京）

【六一・五〇】農事實況（東京）

【六二・〇〇】農事實況（東京）

【六二・一〇】農事實況（東京）

【六二・二〇】農事實況（東京）

【六二・三〇】農事實況（東京）

【六二・四〇】農事實況（東京）

【六二・五〇】農事實況（東京）

【六三・〇〇】農事實況（東京）

【六三・一〇】農事實況（東京）

【六三・二〇】農事實況（東京）

【六三・三〇】農事實況（東京）

【六三・四〇】農事實況（東京）

【六三・五〇】農事實況（東京）

【六四・〇〇】農事實況（東京）

【六四・一〇】農事實況（東京）

【六四・二〇】農事實況（東京）

【六四・三〇】農事實況（東京）

【六四・四〇】農事實況（東京）

【六四・五〇】農事實況（東京）

【六五・〇〇】農事實況（東京）

【六五・一〇】農事實況（東京）

【六五・二〇】農事實況（東京）

【六五・三〇】農事實況（東京）

【六五・四〇】農事實況（東京）

【六五・五〇】農事實況（東京）

【六六・〇〇】農事實況（東京）

【六六・一〇】農事實況（東京）

【六六・二〇】農事實況（東京）

【六六・三〇】農事實況（東京）

【六六・四〇】農事實況（東京）

【六六・五〇】農事實況（東京）

【六七・〇〇】農事實況（東京）

【六七・一〇】農事實況（東京）

【六七・二〇】農事實況（東京）

【六七・三〇】農事實況（東京）

【六七・四〇】農事實況（東京）

【六七・五〇】農事實況（東京）

【六八・〇〇】農事實況（東京）

【六八・一〇】農事實況（東京）

【六八・二〇】農事實況（東京）

【六八・三〇】農事實況（東京）

【六八・四〇】農事實況（東京）

【六八・五〇】農事實況（東京）

【六九・〇〇】農事實況（東京）

【六九・一〇】農事實況（東京）

【六九・二〇】農事實況（東京）

【六九・三〇】農事實況（東京）

【六九・四〇】農事實況（東京）

【六九・五〇】農事實況（東京）

【七〇・〇〇】農事實況（東京）

【七〇・一〇】農事實況（東京）

【七〇・二〇】農事實況（東京）

【七〇・三〇】農事實況（東京）

【七〇・四〇】農事實況（東京）

【七〇・五〇】農事實況（東京）

【七一・〇〇】農事實況（東京）

【七一・一〇】農事實況（東京）

【七一・二〇】農事實況（東京）

【七一・三〇】農事實況（東京）

【七一・四〇】農事實況（東京）

【七一・五〇】農事實況（東京）

【七二・〇〇】農事實況（東京）

【七二・一〇】農事實況（東京）

【七二・二〇】農事實況（東京）

【七二・三〇】農事實況（東京）

【七二・四〇】農事實況（東京）

【七二・五〇】農事實況（東京）

【七三・〇〇】農事實況（東京）

【七三・一〇】農事實況（東京）

【七三・二〇】農事實況（東京）

【七三・三〇】農事實況（東京）

【七三・四〇】農事實況（東京）

【七三・五〇】農事實況（東京）

【七四・〇〇】農事實況（東京）

【七四・一〇】農事實況（東京）

【七四・二〇】農事實況（東京）

【七四・三〇】農事實況（東京）

【七四・四〇】農事實況（東京）

【七四・五〇】農事實況（東京）

【七五・〇〇】農事實況（東京）

【七五・一〇】農事實況（東京）

【七五・二〇】農事實況（東京）

【七五・三〇】農事實況（東京）

【七五・四〇】農事實況（東京）

【七五・五〇】農事實況（東京）

【七六・〇〇】農事實況（東京）

【七六・一〇】農事實況（東京）

【七六・二〇】農事實況（東京）

【七六・三〇】農事實況（東京）

【七六・四〇】農事實況（東京）

【七六・五〇】農事實況（東京）

【七七・〇〇】農事實況（東京）

【七七・一〇】農事實況（東京）

【七七・二〇】農事實況（東京）

【七七・三〇】農事實況（東京）

【七七・四〇】農事實況（東京）

【七七・五〇】農事實況（東京）

【七八・〇〇】農事實況（東京）

【七八・一〇】農事實況（東京）

【七八・二〇】農事實況（東京）

【七八・三〇】農事實況（東京）

【七八・四〇】農事實況（東京）

【七八・五〇】農事實況（東京）

【七九・〇〇】農事實況（東京）

【七九・一〇】農事實況（東京）

【七九・二〇】農事實況（東京）

【七九・三〇】農事實況（東京）

【七九・四〇】農事實況（東京）

【七九・五〇】農事實況（東京）

【八〇・〇〇】農事實況（東京）

【八〇・一〇】農事實況（東京）

【八〇・二〇】農事實況（東京）

【八〇・三〇】農事實況（東京）

【八〇・四〇】農事實況（東京）

【八〇・五〇】農事實況（東京）

【八一・〇〇】農事實況（東京）

【八一・一〇】農事實況（東京）

【八一・二〇】農事實況（東京）

【八一・三〇】農事實況（東京）

【八一・四〇】農事實況（東京）

【八一・五〇】農事實況（東京）

【八二・〇〇】農事實況（東京）

【八二・一〇】農事實況（東京）

【八二・二〇】農事實況（東京）

【八二・三〇】農事實況（東京）

【八二・四〇】農事實況（東京）

【八二・五〇】農事實況（東京）

【八三・〇〇】農事實況（東京）

【八三・一〇】農事實況（東京）

【八三・二〇】農事實況（東京）

【八三・三〇】農事實況（東京）

【八三・四〇】農事實況（東京）

【八三・五〇】農事實況（東京）

【八四・〇〇】農事實況（東京）

【八四・一〇】農事實況（東京）

【八四・二〇】農事實況（東京）

【八四・三〇】農事實況（東京）

【八四・四〇】農事實況（東京）

【八四・五〇】農事實況（東京）

【八五・〇〇】農事實況（東京）

【八五・一〇】農事實況（東京）

【八五・二〇】農事實況（東京）

【八五・三〇】農事實況（東京）

【八五・四〇】農事實況（東京）

【八五・五〇】農事實況（東京）

【八六・〇〇】農事實況（東京）

【八六・一〇】農事實況（東京）

【八六・二〇】農事實況（東京）

【八六・三〇】農事實況（東京）

【八六・四〇】農事實況（東京）

【八六・五〇】農事實況（東京）

【八七・〇〇】農事實況（東京）

【八七・一〇】農事實況（東京）

【八七・二〇】農事實況（東京）

【八七・三〇】農事實況（東京）

【八七・四〇】農事實況（東京）

【八七・五〇】農事實況（東京）

【八八・〇〇】農事實況（東京）

【八八・一〇】農事實況（東京）

【八八・二〇】農事實況（東京）

【八八・三〇】農事實況（東京）

【八八・四〇】農事實況（東京）

【八八・五〇】農事實況（東京）

【八九・〇〇】農事實況（東京）

【八九・一〇】農事實況（東京）

【八九・二〇】農事實況（東京）

【八九・三〇】農事實況（東京）

【八九・四〇】農事實況（東京）

【八九・五〇】農事實況（東京）

【九〇・〇〇】農事實況（東京）

【九〇・一〇】農事實況（東京）

【九〇・二〇】農事實況（東京）

【九〇・三〇】農事實況（東京）

【九〇・四〇】農事實況（東京）

【九〇・五〇】農事實況（東京）

【九一・〇〇】農事實況（東京）

【九一・一〇】農事實況（東京）

【九一・二〇】農事實況（東京）

【九一・三〇】農事實況（東京）

【九一・四〇】農事實況（東京）

【九一・五〇】農事實況（東京）

【九二・〇〇】農事實況（東京）

【九二・一〇】農事實況（東京）

【九二・二〇】農事實況（東京）

【九二・三〇】農事實況（東京）

【九二・四〇】農事實況（東京）

【九二・五〇】農事實況（東京）

【九三・〇〇】農事實況（東京）

【九三・一〇】農事實況（東京）

【九三・二〇】農事實況（東京）

【九三・三〇】農事實況（東京）

【九三・四〇】農事實況（東京）

【九三・五〇】農事實況（東京）

【九四・〇〇】農事實況（東京）

【九四・一〇】農事實況（東京）

【九四・二〇】農事實況（東京）

【九四・三〇】農事實況（東京）

【九四・四〇】農事實況（東京）

【九四・五〇】農事實況（東京）

【九五・〇〇】農事實況（東京）

【九五・一〇】農事實況（東京）

【九五・二〇】農事實況（東京）

【九五・三〇】農事實況（東京）

【九五・四〇】農事實況（東京）

【九五・五〇】農事實況（東京）

【九六・〇〇】農事實況（東京）

【九六・一〇】農事實況（東京）

【九六・二〇】農事實況（東京）

【九六・三〇】農事實況（東京）

【九六・四〇】農事實況（東京）

【九六・五〇】農事實況（東京）

【九七・〇〇】農事實況（東京）

【九七・一〇】農事實況（東京）

【九七・二〇】農事實況（東京）

【九七・三〇】農事實況（東京）

【九七・四〇】農事實況（東京）

【九七・五〇】農事實況（東京）

【九八・〇〇】農事實況（東京）

【九八・一〇】農事實況（東京）

【九八・二〇】農事實況（東京）

【九八・三〇】農事實況（東京）

【九八・四〇】農事實況（東京）

【九八・五〇】農事實況（東京）

【九九・〇〇】農事實況（東京）

【九九・一〇】農事實況（東京）

【九九・二〇】農事實況（東京）

【九九・三〇】農事實況（東京）

【九九・四〇】農事實況（東京）

【九九・五〇】農事實況（東京）

【一〇〇・〇〇】農事實況（東京）

消化と養榮に

サロメン

錠劑

適應症

胃腸の弱い人に　下痢便秘の人に　食慾のない人に　結核・神經衰弱に　妊娠病後の人に　發病質の子供に

百錠瓶入　百錠　三十五錢　三百錠　一圓五十錢

藥學博士淵田勝太郎創製

製造發賣元　淵田勝太郎商店株式會社臺北市三

代理店　永林大森号

ムーリクーバ

雪印

ナテウ

夏が來る！

潑剌の健康美を作り
理智美の明朗感を生む
雪印（スノークリーム）さらりと召せば——

實に、颯爽こと
魅惑的に、美し

雪印の一つけて
とても白粉ノリよくなり
日ヤケをとめて
化粧くづれを防ぎます
×
お柔化粧に
おヒゲソリ後に
白粉下地に
お湯上りに
×
一家揃つて、毎日きつと
雪印で地肌を美しく
護りませう
×
無脂肪性・三十二錢・六十四錢

純良植物性

ウテナ花印クリーム　脂肪性　五十錢・一圓錢
ワテナ月印クリーム　中性　五十三錢・七十五錢
ウテナ雪印クリーム　無脂肪　三十二錢・六十四錢
ウテナレモンクリーム　果精　三十錢・六十錢

ドーマポナテウ

30セン・50セン

10.6—9.1

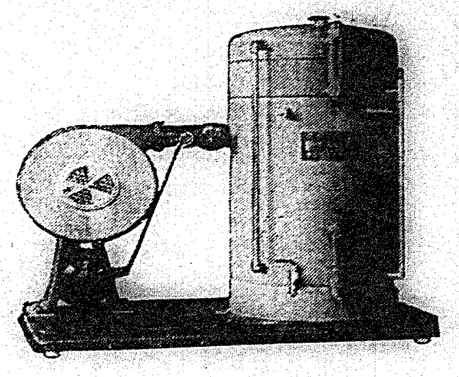
東京　本郷
久保政吉商店

世界的國産發明

文化瓦斯機

費用は市内瓦斯の三分の一以下

(炊事用　風呂用　工業用　營業用
(暖房用　燈火用　醫療用　外一般



一、本機は極めて簡易なる自動裝置なるも市内瓦斯に比し遙に熱量強き瓦斯を使用の都度即時容易に何人にも發生せしむることを得(本機標準型一瓦斯發生量一時間約一五〇立方呎)

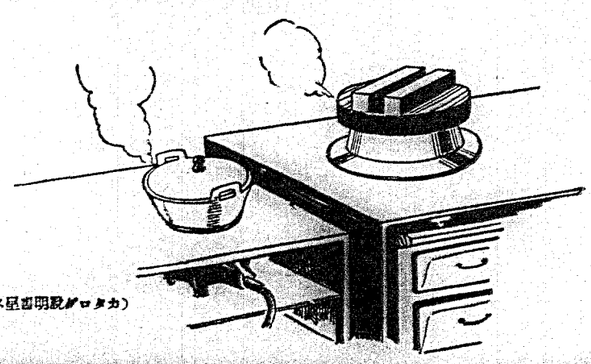
一、本機は室内、屋外隨所に持ち運び自由にして鉛管又はゴムパイプにより數百尺の距離に於て大小各種器具を數個同時に使用することを得

一、本機は瓦斯會社と同樣の器具を使用することを特徴とす。

一、本機は最新科學を應用したるものなるにより驚くべき經濟的性能を有す。

一、本機は市内瓦斯に反し無臭無害なる完全燃料瓦斯を發生せしむ。

一、本機は取扱容易にして堅牢優美且つ火氣絶對安全なることを生命とす


(カタログ説明書より)

臺灣一手販賣元　李仲義商行
臺北市日新町弐ノ壹〇
電話長壹八五五　四四八四

製作元　東京瓦斯機製作所
東京市京橋區銀座西七ノ五
電話銀座四壹八・三四一九

品質日本一

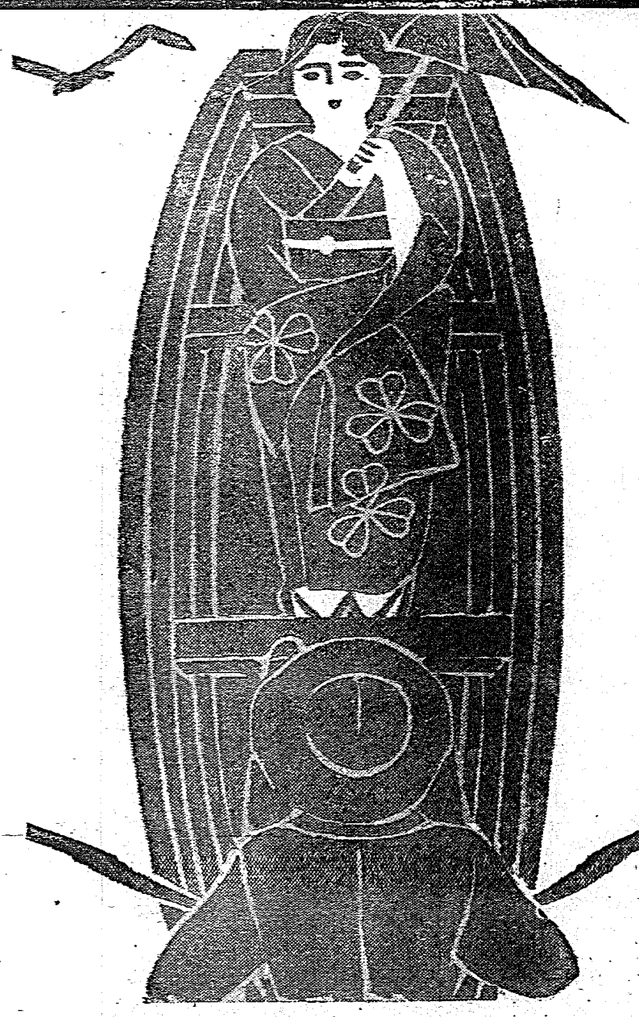
ヤマサ醤油

樽に……大形硝子食器
壜に……小形硝子食器
區域……臺灣全道

景品付大特売

良い醤油に良い景品

臺島發賣元　近藤商會



御園の白粉

F-1

をび歡きな上此でのそみ神花の美
へまたち立先もりよ誰にとこる得

幸福を望み成功を目指す者は
まづ健康を確保せよ

片倉の米の母

健康の源泉は榮養の充溢にあります。
「米の母」は人體に必要欠くべからざる重要榮養素をすべて含有し、殊に下記の疾病に特効を持ちます

(主要適應症)

胃腸疾患　滯化不良　食慾不振　慢性胃腸カタル　下痢　嘔吐
一般榮養　榮養不良　榮養障礙　榮養缺乏　榮養衰弱　榮養不良　榮養不良　榮養不良

連日の暑さで 二百人の兒童が卒倒

由々しき學校衛生の問題

先年頃、學校衛生當局が某學校に關係した、市内二十校の小學校に關連して、學校醫吉岡、岡生堂、その他の件について既報した如く學校からも二百の當局を選び屢次會合の結果、今年九月頃から開催する事となつた、いささか學校衛生に關して考察してみよう

最近の兒童の體力は、體に對しての抵抗力の弱さは、實に驚くばかりで四月以來、一日に平均二校十人位は腦貧血を起したり「めまひ」で倒れたりして醫生婦の手當てねばならない事になるのだが、その學校衛生婦でさへも充分でないと云ふ。

昨年までは、市内二十校に七名で交代に受持つてゐたので、それでは手が廻りかね、今年から三名に增加され、二校を二人二日交代で受持つ事となり、昨年よりは少しは樂くなつたわけであるが、それでも醫生婦の不在の日があるので、充分とは云へない、醫生婦の不在の日に學校に一名の醫者が出ても、勿論素人の受持ぢではどうする事も出來ないのだが、放つて置くわけにはゆかず、六十名の生徒の授業を中止して歸宅するかまたは教授か、或は體操などが、頭痛持ちの兒童はそれがもとで、朝は午前六時半から午後五時近くまで、夜は零時の頃迄をせねばならず、生徒が消化不良、睡眠不足で、この頃の暑しい盛さにたへられないのは當然の事で、これが長く續けば、遂には入學地獄以上の苦しみをせねばならない現狀にあるのではないだらうか

×　×　×

入學試驗前後が一番暑しい時に、六年生は修學旅行があつて、學校衛生當局者が考へてゐる事は、一通り揃へ、ベツトの四、五臺は備へ、醫生婦の充分な活動が出來る樣にせねばならないだらう

また教授か、訓練法をつけて缺席を減けるか、休養させるにしても、小使部が各教室に冷風を布かすに限せておく樣なもので、素人には左程重い病人でないと思つてゐるでも、實際は非常な重症であつたり、治めねばならない病人を冷やしてみたり、殺したりしただけでも實に恐い樣である

それで醫生婦の增員を充分にし、藥品も急劇藥だけでなく、必要な藥は一通り揃へ、ベツトの四、五臺は備へ、醫生婦の充分な活動が出來る樣にせねばならないだらう

×　×　×

入學試驗前後が一番暑しい時に、六年生は修學旅行があつて、學校衛生當局者が考へてゐる事は、一通り揃へ、ベツトの四、五臺は備へ、醫生婦の充分な活動が出來る樣にせねばならないだらう

浴衣の夏　プールをさして大像が泳ぐ如く、夏の女の最大の點刀は浴衣だ

慰問袋の山　愛國婦人本部では國防の第一線にたつ勇士慰問袋、愛國婦人會を設ける、全島から續々慰問袋を集める事もあるが、會員の手によつて六千餘の多數を集める事は當部が始めてで、二十六日當部の手續きをとつた

浴衣の上手な著付

お化粧は濃い目に

浴衣のやうな木綿物は一體にゆるやかに著付ける事です。帶も下目にお太鼓もごく心さいものの方がうしろ中年の方でしたらうろ太鼓の小枕を用ゐないで帶上げだけにしておいた方が宜しい樣です

そして袖丈もなるべく短かく、袖付けもやや大き目に仕立る事です。衣紋を一寸抜いて襟元はパツチリと合せて脳の下部ごくゆるやかに著付けてほしいものです。帶は腰の中輪が一番恰好がよく從つて解くヒンと仕立たのをキリと低く結んだ方がよろしいと思ひます

お化粧は夕方でしたら殊更濃目の方が效果的でお膚を白くしてお眼は目尻をほかす樣に、但し皆とお眼とがハツキリ殺さつた樣に濃淡を見るのは下品でございます。そしてお顏にはやはり綠色に紅を用ゐるのです。

次に忘れてならぬことは、浴衣には著足の爪等にもごく關心なさすがら足の爪等にもごく關心なさすがら足の爪等にもごく關心なさすがら

女芸

チエホフの「熊」の演出

河合謙氏への公開狀

中山侑

河合様。過日の招待、ザ・エホフの「熊」についての講演が機緣となつて、藪にはからずも貴方に宛てて一文を草する光榮に浴した事を感じとします。お說の如く僕に演劇的の力量無くある舞臺です。演力がアマチユア劇場の「素人の不自由な制限」をうけてゐる事實に就て、僕かに劇團の最大に幸福られた藝術の實現好家、吾演劇研究のエキスパートを發見する事が出來たのは、實際藝術文化の爲に力强く思ふ所であります。實際に指導された樣に「本島劇壇の不振は專門的な良い指導者を持たない事である、優秀の研究を指導する人がないからだ」であります。貴方の說かなる才能と劇壇に依つて、此の不振な本島劇壇が指導と成げる事をどんなに私共は期待する事でせう。私として「結果の發表」をあげつつらつて下馬評をする」樣な無責任な氣持からあんな批文を物したのではありません。指導者、もとより劇壇そのに衷敬する故ではありませんが、少くとも演劇を愛し、本島劇壇運動の爲には努力を惜しまない一人として偶々抗議を感じた「熊」の感想をとして吉兵衛の手數であつて、演劇の藝術の根本は、その方法に數つの流派あらうと、その藝術に於て作者或は企畫して表現しやうとした藝術藝術的に接する態度に關聯上に於ける事であつて表現しても、その對象に於ける事であつて表現しても、その對象に於けるオニイルの戲曲に忠實の誇り、その表現形式を求つたのであります。「ハムレツト」にシルクハットを着せた演出者は、シエクスピアの「ハムレツト」の現代的解釋を試みたのだと言はれてゐるのでは無いでせうか。この若い素人の女性主義の中年の婦に依つてはじめて感じ出されたこと、この二年特別人物として描いた「熊」のロシヤ風な田舎婦人の一篇に、到底ニヤヤな若い感情家のモダンボーイと共感を以つては觀れて來ないのです。

×　×

河合様。貴方の「熊」を觀れば、それこそあの「熊」新なるが戰なる試みであつたことは、實に尊すべき勇敢な事でした。そして貴方の「熊」に於ける演出の方法の根本的な決定は、實際藝術の演出方法の根本的な決定と、ロシア人チエホフに對する理解の決定であつた事をお氣の毒に思ひます。併し、「熊」の演出されたる演出の學生諸君の演技は、決して惡いものでありました。之に氣を腐らせず、來年はい野心的な作家の上演を企畫される事を期待してやみません。

×　×

貴方のお說に依る「目的はナニホフを盛り多く觀す」樣、どうかして藝術の眞を捉つて見たかつた」とか「チエホフのイデオロギイを發揮せる爲に思ひ切つて新しい表現を試みた」とか言ふ說なる試みの發展化の爲の上に立つた演出方法の藝術的意圖が、實の新らしい表現形式を生んだのだと思ひます。演出の仕方は此點に至つてはじめて大きな意義があるのではないでせうか。此の場合、我に取つては一つの經驗にとつては、ただ一つの演出方法しかなかつたのです。

私はここで書いて貴方の演出された「熊」の演出形式について再び聯しようとするものではありません。ただ戰面の中年の地主を「熊」の客の青年貴族」と書きかへ、三十歲の未亡人ポーバを二十四五の若後家に直してプエホフのユーモアを再現しやうとされた貴方の試みはその努力にも拘はらず失敗であつたと申し上げねばなりません何故でせうか。

貴方は、戲曲「熊」に於て、チエホフは「ある戰慄家の不圓滿な戀愛から自分の中に經驗を見出すこの設定のユーモアがチエホフのイデオロギイだ」として貴方の「熊」を演出されました。併しながら、貴方も「チエホフの本質を生かすなら民間に生活の實際小說なら引用せずに、あの美しい「熊の演出」に引用せねばならない」と言はれてゐる樣に、チエホフの「熊」に描かれたあの戀愛、否、「個人ワーニヤ」「三姉妹」をはじめとするチエホフの作品のすべては、その根に流れてゐる、あの時代のロシヤの田園の生活中に描かれてゐる戀愛を觀れては、考へる事は出來ないのです。

博愛な貴方が「熊」に個人的の事と思ひまして演出に於けるレキシン等に於けるチエホフキイ、それから又最に於けるチエホフキイ、此

▲昨日午後一時半から市公會堂で開かれた市會は、市長の提案した市營バス經營案を可決した。

▲臺北市總督官邸と即れた宇垣大將夫人は一日午前零時二十分臺北驛發列車で京城へ向つた。

▲吉屋「あなた、又戀愛と結婚なさるお積り？」

宇垣「もう結婚なんてこりこりですわ、これから、あなたにならつて、一生獨身で通しますわ」

▲「ねや、あなたうの獨身主義にお入りにならない？」

「獨身倶樂部つて？　そんなのがあるんですの？」

▲「ええ、文藝、音樂、美術、映畫、演劇、ダンス、スポーツ、ゴルフ、ピンポン、ビリヤード、麻雀、碁、將棋、ハイキング、ドライブ、旅行、釣、園藝、盆栽、金魚、小鳥、ペット、料理、裁縫、編物、手藝、洋裁、和裁、生花、茶の湯、謠曲、舞踊、長唄、小唄、都々逸、浪花節、講談、落語、漫才、義太夫、新劇、活動寫眞、寫眞、碁、將棋、囲碁、麻雀、ビリヤード、ゴルフ、スポーツ

純正頭腦藥の誇り！

獨自の綜合的効果・多年研鑽の精華成る

頭痛藥にも優劣あり選擇を要す！

頭痛の解消と頭腦の疲勞恢復に

現代科學は全てに非常な進歩を見せて居ります。從つて頭痛藥も單に頭の痛みを止めるだけでは今日の完全なる頭痛藥とは云へません。それは頭痛を治すと同時に頭腦の疲勞を回復させ腦髓たる頭がハツキリと明快になる作用が無ければ頭痛藥の使命を最後まで完ふしたものと云へないからですノーシンは此目的を以て創製された新頭腦藥で一、「頭の痛みを治す作用」は勿論の事、同時にもう一歩進んで

一、「頭腦の過勞を回復させる作用」を持つて居るのです

キキメ遲くば無効に近し

頭痛藥に最も必要な條件は、一分間でも一秒間でも早くキキメが現はれて、あの堪えられない頭痛の苦しみや、不快な頭重、腦髓等から一刻も早く免れさせる作用です。これなくば如何に百千の理論を並べても要するに無効に等しいのです。

ノーシンが服用後ホンの僅かの間にその偉力を發揮する事は既に天下に定評があり、今日の如く「藥もノーシン程早く効くものなら結構だ」と御愛用者から常に感賞感謝されて居るに見ても明かです而も胃腸等に障りがなく、無論頭を麻痺させる様な藥は絶体に含まれてゐませんから御安心下さい。

惡い作用がなく安全

數多き頭痛藥の中には時たま胃腸等をこわすものもある様ですがこれては折角頭痛にきいても模範的だと誇ることは出來ません。

ノーシンは斯の種のものとは全然異り、元來、胃腸等に對して害ある成分を含まず、從つて他の頭痛藥の如くにわざわざ胃腸藥を加味して胃腸障害を防ぐ必要がないのであります。

これこそノーシンが純正な頭痛藥として他に代用藥なしと誇る点であつて、實に得がたき長所の一ツであります。

適應症——頭痛、偏頭痛、頭腦過勞、頭重、頭内朦朧、精神憂鬱、眩暈、二日醉、船車の醉

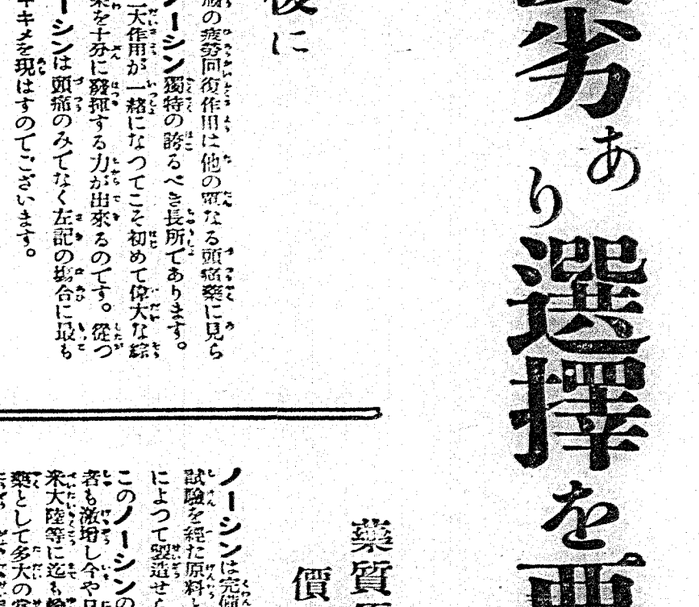
藥質優秀で價格は低廉

ノーシンは完備した衛生的工場で一層重な試驗を經た原料と多年の經驗、熟練した技術とによつて製造せられる科學的優秀品であります。

このノーシンの眞價が認められるに從ひ御愛用者も激增し今や日本全國は勿論滿洲、支那、南洋米大陸等に迄も輸出せられ我が日本の代表的頭腦藥として多大の賞讃を博して居ります、之と共に工場も合理的製産の機構を擴大し次の如き低廉な藥價で提供する事が出來るのであります。

藥	價
四回分…一十錢・十三回分…五十錢	
七回分…二十錢・廿八回分…一	四

★全國著名藥店又はデパート藥品部にあり



——胃腸藥を添加せる頭痛藥の是非——

胃腸が健全だと云ふ事は結局胃腸が普通の狀態にある事を云ふのです。胃腸が變だと感じない時が即ち健全な胃腸なのですから、これ以上藥で強くする事は出來もせずその必要もありません。元來胃腸藥は胃腸が弱つたりその他故障のある時に、これを普通の狀態に戻す助けをするもので す。若し胃腸が健全であるのに胃腸藥を常用しますと胃腸はそんな餘計な力を他から借りなくても今迄十分に働いてゐたものを、自然その藥の力を借る習慣がついて、結局胃腹自身が本來持つてゐる大切な機能を、却つて弱める傾向になる事は當然であります。

他の頭痛藥で胃腸藥を加へたものがある様ですがこの原理を考へますとこれこそは結局必要のない餘分の胃腸藥を無理押付けにのまされる結果、次第に胃腸は消化の力を根本的に弱めると云ふ失態の原因となります。

現に醫家が藥を處方される時には胃腸をコワス心配のある藥劑の場合には胃腸藥を添加して胃腸の保護をされますがその他には必要以外に胃腸藥を添加されません。この事からしても健康狀態の胃腸には胃腸藥が不要である事は實證されませう。

ノーシンに胃腸藥が加味してないのは斯かる心配が少しもないからであります。

即ち胃腸藥を添加せずとも胃腸を害しない頭痛藥こそ眞實の意味の『完成せる頭痛藥なり』と云ひ得るのであります。

發賣元
荒川長太郎合名會社

小作地を離れた 夥しい「不在地主」

都會地住ひが實に一萬三千人

業佃協調などには全然無關心

本府農務課に於ける全國の消費統計を調査せる所によれば、即刻昨年以降次の如き統計を示してゐる

年度	消費高	増減
四年	三六、〇八九	
五年	二四四、二五八	一八五、一六九
六年	一九五、三一八	四八、七五二
七年	二三二、八四〇	三七、〇二二
八年	此の如く四年以降減少の徴を示したが、六年度を分岐として漸次増加の傾向にある	

全國農家 金肥消費高 六年度以降 漸次增加す

本府農務課に於ける全國の消費統計を調査せる所によれば、即刻昨年以降次の如き統計を示してゐる

年度	消費高	増減
四年	三六、〇八九	
五年	二四四、二五八	一八五、一六九
六年	一九五、三一八	四八、七五二
七年	二三二、八四〇	三七、〇二二
八年	此の如く四年以降減少の徴を示したが、六年度を分岐として漸次増加の傾向にある	

國家的見地から土業獎勵の目的を目標とする耕田擴張の樂出すことは大に意義あることと信するので是非協共の實現が實現するやうにしたいものである

海人草の 採取料問題

組合側の云ひ分

今回の漁夫側の主張するが如く四割五分と五割五分の歩合を以て分配する說は認められるものとは思はれない

臺灣米移入 協會發會式 臺灣からも 代表が出席

內地各地の臺灣米移入業者が發起して組織した臺灣移入業者協會は來る七月十日臺北ホテルに於て第一回の總會を開催する筈で愈々同會發會式を擧行する筈であるが、當日は臺灣からも代表者が出席することに決定した、尙ほ同協會の出現は臺灣米移出に一層の拍車を加へ、又內地に於ける臺灣米の販賣競爭は益々激烈化し、一方內地米の移出は減少するものと豫想されてゐる

臺灣製鹽の大擴張案 結局五百萬圓に增資か

臺灣製鹽會社長園三郎氏は臺南での臨時總會に關する重役會及定時總會に出席の上二十七日朝來北、二十九日朝日丸にて內地に歸る筈だが、臨時擴張の計劃內容と同社の將來に就て次の如く語つた

臺灣製鹽會社は專ら工業鹽を生產する目的にて開業後地一千二百甲の內最初數百甲を開墾することに方針を定し既に北門郡役所へ願書を提出してあるが當局でも一應調査の上許否を決することとなるべく未だ許可にならぬうち現在の內容をお話することも何うかと思はれるが、幸に許可しては差支ない譯である、而もう一つの不在地主に關して最近の小作料、取立に關する慣習そのもので、業佃協調の實際などには耳も開けない者が多い、殊に南國方面は續續市住の地主で二千七百五十五名のうち紀振藏を持つてゐる者は一人もない、其の他業種、實數、荷種、歷史の續市在住地主が小作關係業に二人も加盟せず從つて業佃協調の實際などには全く無關心である、殊に中、彰化の四市在住者中に至つては一人の紀振藏事業に關係を有するもののみである、而して不在地主の所謂小作地は必ずしも在住地の州下のみでなく遠隔なる州にも跨がり從つて小作人に對する監督の徹底を缺くの憾みがあるやうである、例へば臺北市在住の地主は臺北州下の小作地を始め桃園、新竹、苗栗、臺中、彰化、南投、嘉義、臺南、高雄、屏東、澎湖の各州廳下に散在し、其の小作人は實に二萬七千三百八十人である、之等の不在地主は自己の小作地を遠く離れ都會に在住し、單に賃貸關係を結ぶに過ぎないから、小作人の取扱ひなどは全然代理人に一任されてゐるから、小作人の監督などは全く行屆かず、從つて小作人は地主に對しては殆んど無關心であるから、小作人の地位は極めて不安定であり、從つて小作料の滯納者も多く、其の額も亦多額に上つてゐる、之等の不在地主に屬する小作人は二萬七千三百八十人中實に一萬三千人の多數に上つてゐる、之等の不在地主は自己の小作地を遠く離れ都會に在住し自己の有力者とも提携し、自らも相當の社會的地位に在る者であるから、小作人監督などの煩雑さは全然無關心であるが、此の點が小作人の地位を不安ならしめ、從つて小作爭議の原因となつてゐるのである

地主在住市名	州內小作地	州外小作地	小作人	小作地
臺北	八、六四四	一、四四二	一、四四二	八、六四四
基隆	八四	一、三五	一、三五	八四
新竹	二、三五二	一、三五	一、三五	二、三五二
臺中	一、四四二	三五	三五	一、四四二
彰化	二、四四二	一、四四二	一、四四二	二、四四二
嘉義	六、三五二	一、四四二	一、四四二	六、三五二
臺南	一、四四二	三五	三五	一、四四二
高雄	一、三五二	一、四四二	一、四四二	一、三五二
屏東	八四	一、四四二	一、四四二	八四
計	二萬六百四十四戶	七千四戶	七千四戶	二萬六百四十四戶

從來する地主は自己耕作に從事せざる地主と分けると

地主在住市名	從來する地主	從來せざる地主
臺北	八、六四四	八四
基隆	八四	一、三五
新竹	二、三五二	一、三五
臺中	一、四四二	三五
彰化	二、四四二	一、四四二
嘉義	六、三五二	一、四四二
臺南	一、四四二	三五
高雄	一、三五二	一、四四二
屏東	八四	一、四四二
計	二萬六百四十四戶	七千四戶

從來する地主は自己耕作に從事せざる地主に比し小作人に對する監督の徹底を缺くの憾みがあるやうである、例へば臺北市在住の地主は臺北州下の小作地を始め桃園、新竹、苗栗、臺中、彰化、南投、嘉義、臺南、高雄、屏東、澎湖の各州廳下に散在し、其の小作人は實に二萬七千三百八十人中實に一萬三千人の多數に上つてゐる、之等の不在地主は自己の小作地を遠く離れ都會に在住し自己の有力者とも提携し、自らも相當の社會的地位に在る者であるから、小作人監督などの煩雑さは全然無關心であるが、此の點が小作人の地位を不安ならしめ、從つて小作爭議の原因となつてゐるのである

八十五萬圓を投じ 三百甲の新鹽田開拓

臺灣製鹽の大擴張案 結局五百萬圓に增資か

臺灣製鹽會社長園三郎氏は臺南での臨時總會に關する重役會及定時總會に出席の上二十七日朝來北、二十九日朝日丸にて內地に歸る筈だが、臨時擴張の計劃內容と同社の將來に就て次の如く語つた

臺灣製鹽會社は專ら工業鹽を生產する目的にて開墾後地一千二百甲の內最初數百甲を開墾することに方針を定し既に北門郡役所へ願書を提出してあるが當局でも一應調査の上許否を決することとなるべく未だ許可にならぬうち現在の內容をお話することも何うかと思はれるが、幸に許可しては差支ない譯である、而もう一つの不在地主に關して最近の小作料、取立に關する慣習そのもので、業佃協調の實際などには耳も開けない者が多い、殊に南國方面は續續市住の地主で二千七百五十五名のうち紀振藏を持つてゐる者は一人もない、其の他業種、實數、荷種、歷史の續市在住地主が小作關係業に二人も加盟せず從つて業佃協調の實際などには全く無關心である、殊に中、彰化の四市在住者中に至つては一人の紀振藏事業に關係を有するもののみである、而して不在地主の所謂小作地は必ずしも在住地の州下のみでなく遠隔なる州にも跨がり從つて小作人に對する監督の徹底を缺くの憾みがあるやうである、例へば臺北市在住の地主は臺北州下の小作地を始め桃園、新竹、苗栗、臺中、彰化、南投、嘉義、臺南、高雄、屏東、澎湖の各州廳下に散在し、其の小作人は實に二萬七千三百八十人中實に一萬三千人の多數に上つてゐる、之等の不在地主は自己の小作地を遠く離れ都會に在住し自己の有力者とも提携し、自らも相當の社會的地位に在る者であるから、小作人監督などの煩雑さは全然無關心であるが、此の點が小作人の地位を不安ならしめ、從つて小作爭議の原因となつてゐるのである

地主在住市名	州內小作地	州外小作地	小作人	小作地
臺北	八、六四四	一、四四二	一、四四二	八、六四四
基隆	八四	一、三五	一、三五	八四
新竹	二、三五二	一、三五	一、三五	二、三五二
臺中	一、四四二	三五	三五	一、四四二
彰化	二、四四二	一、四四二	一、四四二	二、四四二
嘉義	六、三五二	一、四四二	一、四四二	六、三五二
臺南	一、四四二	三五	三五	一、四四二
高雄	一、三五二	一、四四二	一、四四二	一、三五二
屏東	八四	一、四四二	一、四四二	八四
計	二萬六百四十四戶	七千四戶	七千四戶	二萬六百四十四戶

從來する地主は自己耕作に從事せざる地主と分けると

地主在住市名	從來する地主	從來せざる地主
臺北	八、六四四	八四
基隆	八四	一、三五
新竹	二、三五二	一、三五
臺中	一、四四二	三五
彰化	二、四四二	一、四四二
嘉義	六、三五二	一、四四二
臺南	一、四四二	三五
高雄	一、三五二	一、四四二
屏東	八四	一、四四二
計	二萬六百四十四戶	七千四戶

臺南州各郡にて 產糖增收品評會 十一、二年期に實施

【臺南電話】臺南州內各郡守は二十六日午前九時より州廳に集合し、午後一時より州廳樓上に於て州內各郡の產糖增收品評會を開催した、其の品評會の模樣は次の如くである

一、品評會は甘蔗收穫期を利用し、六月下旬より七月中旬に亘り實施す

二、品評會場は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

三、品評會場は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

四、審査員は州內各郡守、技師、農業技手、農會長、農業實行組合長、製糖會社農務課長、其の他適當と認むる者若干名を以て之を組織す

五、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

六、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

七、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

八、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

九、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

十、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

十一、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

十二、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

十三、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

十四、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

十五、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

十六、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

十七、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

十八、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

十九、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二十、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二十一、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二十二、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二十三、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二十四、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二十五、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二十六、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二十七、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二十八、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二十九、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

三十、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

三十一、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

三十二、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

三十三、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

三十四、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

三十五、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

三十六、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

三十七、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

三十八、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

三十九、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

四十、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

四十一、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

四十二、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

四十三、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

四十四、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

四十五、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

四十六、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

四十七、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

四十八、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

四十九、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

五十、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

五十一、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

五十二、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

五十三、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

五十四、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

五十五、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

五十六、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

五十七、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

五十八、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

五十九、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

六十、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

六十一、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

六十二、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

六十三、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

六十四、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

六十五、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

六十六、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

六十七、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

六十八、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

六十九、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

七十、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

七十一、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

七十二、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

七十三、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

七十四、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

七十五、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

七十六、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

七十七、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

七十八、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

七十九、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

八十、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

八十一、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

八十二、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

八十三、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

八十四、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

八十五、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

八十六、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

八十七、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

八十八、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

八十九、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

九十、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

九十一、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

九十二、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

九十三、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

九十四、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

九十五、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

九十六、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

九十七、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

九十八、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

九十九、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百一、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百二、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百三、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百四、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百五、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百六、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百七、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百八、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百九、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百十、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百十一、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百十二、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百十三、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百十四、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百十五、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百十六、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百十七、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百十八、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百十九、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百二十、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百二十一、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百二十二、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百二十三、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百二十四、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百二十五、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百二十六、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百二十七、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百二十八、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百二十九、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百三十、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百三十一、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百三十二、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百三十三、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百三十四、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百三十五、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百三十六、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百三十七、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百三十八、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百三十九、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百四十、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百四十一、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百四十二、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百四十三、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百四十四、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百四十五、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百四十六、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百四十七、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百四十八、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百四十九、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百五十、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百五十一、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百五十二、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百五十三、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百五十四、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百五十五、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百五十六、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百五十七、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百五十八、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百五十九、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百六十、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百六十一、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百六十二、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百六十三、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百六十四、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百六十五、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百六十六、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百六十七、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百六十八、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百六十九、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百七十、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百七十一、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百七十二、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百七十三、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百七十四、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百七十五、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百七十六、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百七十七、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百七十八、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百七十九、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百八十、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百八十一、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百八十二、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百八十三、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百八十四、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百八十五、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百八十六、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百八十七、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百八十八、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百八十九、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百九十、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百九十一、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百九十二、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百九十三、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百九十四、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百九十五、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百九十六、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百九十七、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百九十八、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

百九十九、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百一、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百二、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百三、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百四、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百五、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百六、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百七、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百八、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百九、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百十、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百十一、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百十二、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百十三、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百十四、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百十五、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百十六、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百十七、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百十八、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百十九、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百二十、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百二十一、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百二十二、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百二十三、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百二十四、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百二十五、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百二十六、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百二十七、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百二十八、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百二十九、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百三十、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百三十一、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百三十二、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百三十三、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百三十四、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百三十五、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百三十六、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百三十七、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百三十八、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百三十九、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百四十、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百四十一、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百四十二、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百四十三、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百四十四、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百四十五、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百四十六、審査員は各郡守の指定する場所とし、其の場所は各郡守に於て適當と認むる場所を選定す

二百四十七、審査員は各郡守の指定する

人體は機關、食物は石炭
これを精力化するは酵素

衰弱は體成分の崩壊燃燒

如何なる機關といへども、これに動力を與へなければ運轉することの出來ないのは、エネルギーの原則である。例へ蒸氣機關にとるもたらば、動力の源泉は石炭である。これが燃燒して發生する熱量が機關の中の水を蒸氣化し、蒸氣の膨脹する壓力が機關により動力の形に變換されて、利用られるのである。

人體もまた一個の機關である。生ある限り、たとへ寢ては靜止してゐても、呼吸に、循環に、消化に、思考に、體内の細胞は一刻も休止することなく、多くその燃燒にしたがつて活動しつつある。そのカは何から供給されるか。それは我々の攝取する食物そのに外ならぬ。體内に吸收された食物の成分が、あたかも石炭の如く酸素によつて燃燒すると同時に、その潛勢力が變化するのである。蒸氣機關にとつては、この潛勢力がすべての活動力に變化するのであつて、一カロリーとは、水千グラムを攝氏一度だけ温める力ある熱量である。

然るに一日一人に對するカロリーは、病氣がちがいために、平人において約二千三百カロリー、强き勞働に從事する人にあつては、實に多數のカロリーを要し、三千カロリー以上に至るのである。またスポーツを行ふ場合に、カロリーの所要量が增加することも論を俟たない。

病人が攝取して、血液が供給するのは供給されるカロリーが所要のカロリーに及ばざるばかりでなく、體成分が崩壞燃燒して、これを補充しつつあるからであつて、食物によるカロリーの補給が充分となれば、體力は恢復される。スポーツマンはもとより、繁劇なる勞務者、運動家も常人以上に多くのカロリーを必要とする。

しかるに我々の攝取した食物はただその儘では、體内において溫熱を發生し、體力源とはならない。先づ胃腸内において消化吸收を營んで血液中に入り得る物質に變化されなければならぬ。これ即ち消化であつて、この作用は一に胃腸内に分泌される消化液の賜きによる。胃腸の働きとは消化液と食物とを分泌して、食物の消化と吸收とを完全に營行することにあるのである。

しかもこの消化は一樣でない。食物の消化にはペプシン、トリプシン、エレプシン等、蛋白質の消化にはペプシン、トリプシン、エレプシン等、脂肪の消化にはリパーゼ、ステアプシン等、種々十數種を數へ、夫にこれらの消化液を分泌する腺臟があり、その綜合せる作用によつて、食物の體内における消化は圓滿に行はれるのである。

酵素、助酵素、細胞賦活作用

錠劑もともとは、それらの酵素、助酵素を主體として製造されたものである。

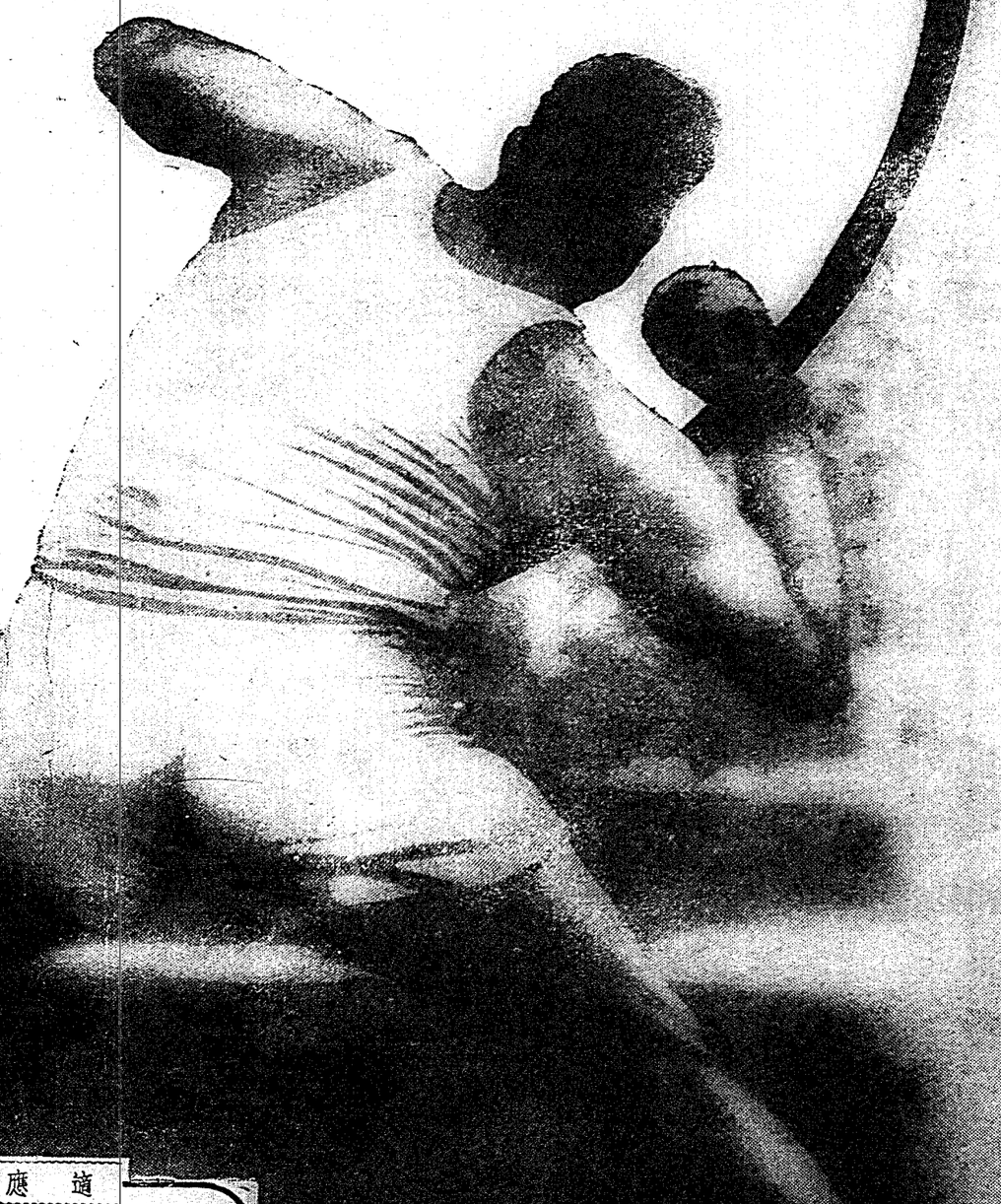
酵素とは、體内に於ける一切の消化作用を呼ばれる作用があつて、人體の組織、細胞に活力を與へ、機能の衰弱を恢復するから、消化の酵素、助酵素を補給する外に、胃腸の機能を强壯にして、酵素、助酵素の分泌をさかんならしめる。これは本劑のもつとも特色とするところである。

更に「錠劑わかもと」には細胞賦活作用と呼ばれる作用があつて、人體の組織、細胞に活力を與へ、機能の衰弱を恢復するから、消化の酵素、助酵素を補給する外に、胃腸の機能を强壯にして、酵素、助酵素の分泌をさかんならしめる。これは本劑のもつとも特色とするところである。

つて、

慢性病衰弱者は勿論胃腸、胃擴張、胃潰瘍慢性腸カタル、食慾不振

等、一般に體力の衰弱するや、細胞組織に活力の缺乏甚しく、或はスポーツ、勞働、勉强の過度にによつて、身の疲勞カロリー消費し、榮養不良に陷つて體力衰弱する處ある者に對し、消化する酵素、助酵素を補給し、缺乏を恢復し、體力を增進し、體質を改善して、體力を增强するの點に於ても、本劑を用ひつゝある處ではこゝに存するのである。



體力增進酵素劑
胃腸榮養
錠劑 わかもと

適應症
慢性衰弱症
胃腸諸症
虛弱乳幼兒
妊產婦衰弱
疲勞老衰

無代進呈
醫學博士 中島精先生著
結婚から育兒まで 婦人一生の顧問醫
—御婦人必讀の寶典—四六判三十二頁—
外に 松波模様携帯小型空容器 添付
錠劑 わかもと
一瓶お買上げ毎に
全國藥店にて

製法特許 專賣

薬價低廉
壹圓六十錢（三百六十錢入）
全國藥店にてご購求の際、もしすでに他の藥品を買ひ上げ居られる場合には、その藥品を返品して、もしくは代金を拂ひもどして、必ず本品に限り一個大倉出張所の印紙を貼つてもらふこと。

發賣元・東京市芝公園
株式會社 榮養と育兒の會
電話芝(代)一七五番　東京市麻布區笄町一七〇番

島内定期飛行

旅客機二臺購入し 來年度から實施か

主要地間に一週三往復 交通上の一大革命

臺北高雄間、臺北臺南間、臺北宜蘭、花蓮港間の島内定期旅客飛行（一週三回）については總督府に於て計畫が進められ、その經費は十一年度豫算に計上されることになる筈であるが、現在の國防義會所有の愛國號二機をもつてしては

計畫の五割の回數も實施出來ぬ、又義勇號を全部それのために使用するわけにもゆかぬので島内定期用の旅客機二機を購入し時代と民衆の要求を容れて是非島内飛行を實現したいと力んでゐるが二機購入のための經費五萬圓に惱んでゐる

【臺南二十七日發本社特電】東洋一の航空無電局が完成し夕東洋一を誇つて目下著々工事進行中の臺南飛行場から歐亞一萬哩の指呼の間に連絡し國際飛行場としての施設を完備する點になつたことは既報したが此の無電局は目下の所は臺南十五萬圓（内六萬圓は九年度分）に過ぎぬ小規模なもので、其設備としても各國の示す如く單に航空に關する無電設備、それも發信するだけの設備に止まり——尋常は當分既設の 名島水上飛行場の無電局で取扱ふ——といふ大きな事は云へないが臺灣の地位はこれを基礎にして云い所迄に一般公衆の國際無線電信電話をも此處で取扱はしめよう、それには少くも百萬圓の經費を要す

福岡に出來る 東洋一の航空無電局

行々は一般の國際無線も扱ふ

るが國費を以て臺南の飛行場つ航空無電局で飛行場を作り徐々に理想の我國最大のさうしてそれは東洋一であると云ふにある歐亞連絡飛行場として選定された福岡飛行場新設村字下府の地は臺南より六萬坪ありこんな廣大の土地は航空のみを目的とする無電局には全く必要がないのみならずこの十六萬坪が發展所だけの 敷地で あるに過ぎても好來の擴張が想像される一般公衆の無線電話が取扱はれるとされば來春一月から實施される内地定期航空機に乘つた旅客が地上の一般電話加入者との間にも自由に通話が出來る事になり我國航空界の一階段を劃すことであらう

愛機を修理し 近く再び壯途へ

不時著した阿野飛行士

（香港特電發信）當地に逃した情報によると去る五月十二日福州を發し臺灣飛行の壯途につき廿九日廈門から飛行の壯途につき廿九日廈門から飛行の壯途につき廿九日廈門から

南州集協議會員等

可決國防獻金八十萬圓

按二年度分攤支出

既報 臺南州 去二十六日 宮本臺南氏 贊成議案。終一午前十時。 集州協議會員 致可決。 關係國防義會員 會長。 開催該會。今川知事 說明 擬二十萬圓。 分擔之件。 就議長席。 起謂關國防獻 今川知事說明 創立趣旨。 金。 臺南大圳組合起債金 及分擔于官衙、組行、會 二件。 惹活位參集。而議 社。組合。保甲各方面之方 即尚未作成具體案。 故欲 針。有資欣。宮本。黃媽 說州下全體總意。進行計 典諸氏起 論贊成意見。可 畫。 次說明。大圳組合負債 決原案。 臨至午 後零時四 總額。 竝現在經過。及將 十分散會云。 來利子六分五厘之二百八萬 圓負債。轉借簡易保險局 低利四分三厘。現交涉中 乃入懇談。有宮本氏。問 低利轉借金利。 希去若干 中平地方關長。 答一年計 算。 利息若有二萬八千九 百二十三圓。十三年賦三 十七萬六千九百九圓。次 渠山氏。問州雖信用臺南 大圳。萬一天災地變。或 資生不可抗力。組合不能 賠償時。州要負責任辦償 對此府方針。及州用意如 何。林田內務部長。答云 督府。對大圳組合。已補 助二千五百萬圓。稱例 所無。今情州名義。係依 簡保局資金運用規程。不 能貸與于組合或個人。他 處亦經府縣關體。轉貸于 個人及組合。故大圳非無 信用。 據有早川氏。起述 如左。

今回新設飛行聯隊。內定 設于嘉義市西端。關同隊 得官民一同誠意及熱心。 軍部亦大感謝。今尚未得 御裁可。不能正式興工。 近日得 御裁可。按來八月 興工。整理兵然敷地。十 一年度整地飛行場、十二 年度同爆擊場、及鐵道。 道路。電話線等 附屬設備 得以完成云云。

今川議長 起謂國防 獻金八 十萬圓。用途一任于臺灣 軍。乃大協議。諸問八十 萬圓。中州市 負擔四十萬 圓。國防義會 獻金二十萬 圓。嘉義市及市有志。醵 出二十萬圓。以上用州名 義。獻金于臺灣軍。本年 度先獻五十萬圓。州市負 擔三十萬。國防義會及 嘉義市竝有志各十萬圓。 來年度三十萬圓。州負擔 十萬圓、國防義會。嘉義 市。有志各十萬圓。而臺 南州負擔。本年度財源、 因地租 規則改正。自然增 收二十九萬六千四十三圓 外補三千餘圓。全部充獻 金。希各位贊成。有早川

贊成意見。終得滿場贊成 同十時五十分休憩、同十 一時再開。此時有臺南州 國防義會理事幹事。及土橋 軍參謀出席。今川議長起 述如下。飛行聯隊。內定 設置于嘉義市郊外。關此 選定。要相當準備。次紹 介土橋參謀。由參謀所述 如左。

聯隊。內定 市西端。關同隊 相當準備。次紹 參謀所述 如左。

內臺米價 現新高值

移出商轉寶

內地關米當限納令。前場 各限當現 新高値。二十七 朝大阪 先限 三十四二十九 錢。自發會來已現百餘丁 內地各處 皆有日當降雨。 揮決無事。而現米好賣。 臺粟米受 此刺戟。同日前 場亦出現 新高値。今限九 圓五十八九錢。中限九圓 四十二三錢。至賣紛紛買 增。滿洲國損害。詳細不 明。今次事件 責任者之處 罰。及將來保障。關東軍 代表土肥 原少將、與奏德 純氏。謀即時現地解決。 二十七日 關東軍已 發訓令 午後七時、開于市民館。 諸賢 行委員。及市內有志 五十餘名出席。由坂本氏 說明起草案。棚邊氏。起 述希望 及質問。終決定來 七月一日。在市公會堂。 開市民大會。以市民總意 組成期成同盟會云。

臺中運動鐵道

市民大會

組期成同盟

臺中市。鐵道期成同盟會 結成磋商會。去二十五日 午後七時、開于市民館。 諸賢 行委員。及市內有志 五十餘名出席。由坂本氏 說明起草案。棚邊氏。起 述希望 及質問。終決定來 七月一日。在市公會堂。 開市民大會。以市民總意 組期成同盟會云。

使土肥原少將 現地解決

關東軍訓令

新京二十七日電。獨石口 北方宋哲元軍不法越境射 擊、滿洲國損害。詳細不 明。今次事件 責任者之處 罰。及將來保障。關東軍 代表土肥原少將、與奏德 純氏。謀即時現地解決。 二十七日 關東軍已 發訓令 午後七時、開于市民館。 諸賢 行委員。及市內有志 五十餘名出席。由坂本氏 說明起草案。棚邊氏。起 述希望 及質問。終決定來 七月一日。在市公會堂。 開市民大會。以市民總意 組期成同盟會云。

基隆水族館 七月竣功

八月一日開館

基隆市勸業協會理事會。 去二十五日 午後一時。開 于市會議室。就臨會經營 水族館。求一同承認。次 議館建設費二萬八千五 十九圓。由小松勸業課長 說明。 親有各理事、起立 質問。及述希望。終承認 原案。是日午後五時。舉 水族館 上棟式。工事按七 月二十日告竣。外水槽等 關係。開館在 八月一日云

金票亂高下

上海二十七日電。本日金 票市場。 寄付八百十四弗 乃入懇談。有宮本氏。問 低利轉 借金利。 桑去若干 中平地方關長。 答一年計 算。 利息若有二萬八千九 百二十三圓。十三年賦三 十七萬六千九百九圓。次 渠山氏。問州雖信用臺南 大圳。萬一天災地變。或 資生不可抗力。組合不能 賠償時。州要負責任辦償 對此府方針。及州用意如 何。林田內務部長。答云 督府。對大圳組合。已補 助二千五百萬圓。稱例 所無。今情州名義。係依 簡保局資金運用規程。不 能貸與于組合或個人。他 處亦經府縣關體。轉貸于 個人及組合。故大圳非無 信用。 據有早川氏。起述 如左。

今回新設飛行聯隊。內定 設于嘉義市西端。關同隊 得官民一同誠意及熱心。 軍部亦大感謝。今尚未得 御裁可。不能正式興工。 近日得 御裁可。按來八月 興工。整理兵然敷地。十 一年度整地飛行場、十二 年度同爆擊場、及鐵道。 道路。電話線等 附屬設備 得以完成云云。

今川議長 起謂國防 獻金八 十萬圓。用途一任于臺灣 軍。乃大協議。諸問八十 萬圓。中州市 負擔四十萬 圓。國防義會 獻金二十萬 圓。嘉義市及市有志。醵 出二十萬圓。以上用州名 義。獻金于臺灣軍。本年 度先獻五十萬圓。州市負 擔三十萬。國防義會及 嘉義市竝有志各十萬圓。 來年度三十萬圓。州負擔 十萬圓、國防義會。嘉義 市。有志各十萬圓。而臺 南州負擔。本年度財源、 因地租 規則改正。自然增 收二十九萬六千四十三圓 外補三千餘圓。全部充獻 金。希各位贊成。有早川

中部震災義捐金

寄本社十五萬餘圓

經送往督府一任處分

前番臺中、新竹兩州下震 災救援義 捐金之募集、以 來、本社 十五萬餘圓 之多額、 無可如何。 關而 大半分 去二十日 截止。 合其後申 込者、整理完了。 加以 貯金利息。 計得十五萬二 千九百五圓四十六錢。除 託送完了者十萬圓、殘額 五萬二千九百五圓四十六 錢。 月二十七日、送往督 府內震災 救護事務所。一 任其處分。 爲是本社義捐 金辦理。 全部清楚。 此時 對寄附者、深表謝意。 又寄附金總額。 爲十五萬 二千八百十三圓三十三錢 利息九十二圓十三錢。計 十五萬二千九百 五圓四十 六錢也。

基隆自治制 講習會

基隆市。二十八日 午後一 時。在市役所會議室。集 市警察部、職員全部。由小 濱內務局長。爲講師。開 關于改正地方自治制度之 精神講習會云。

蚊煙失慎

大甲街火害

大甲郡 大甲街一七二番地 日用雜貨店。柯清德宅。 去二十六日。午前三時頃 突然失火。街民 由夢中驚 醒。見滿天火星飛散。是 夜水滴滴水全無。水道又無 設置。 消防設備已完。 去二十六日。午前三時頃 突然失火。街民 由夢中驚 醒。見滿天火星飛散。是 夜水滴滴水全無。水道又無

貨主不滿

大連運金欲起

既報大連汽船。大阪商船 近海郵船三社協定。大連 線載貨加昇之報道一傳。 貨主非常衝動。而恒其擅 利者不少。 蓋謂大連汽船 進出臺灣。開拓航路。貨 主極力援助之。今其地盤 既固。則反掌欲起載貨。 未免露骨。大連汽船。雖 云三社協定。似此擅率。 督府亦應多少考慮、夫總 中。似可能實現。爲是本

臺灣第一劇場

豫定九月中旬開館

三四層樓經營珈琲店

臺北市 太平町建築中之臺 灣第一劇場。現正 鹵夜築 行工事。以期于博覽會前 開館。其前面 奧劇 聯絡 店舖。三四各層。經租于 北平二十六日電。察哈爾 問題解決。同省政府。接 置日本人顧問。土肥原少 將。奧秦德純氏之間、意 見一致。南京政府。亦承 認之。此不能於解決交涉 中。兩者則已諒解。同省 政府。聘日本人。前例所 無。且自國民政府成立以 來。對日本人。開顧問之 門戶。於茲名開。透境禁 哈爾。率先實現。而該顧 問。軍事或經濟。猶未決 定。兩國提携之前途。放 一光明云。

外相籌解國境紛爭

唱設共同委員會

俄使同意外相要望撤兵

東京二十七日發電。駐日蘇 俄大使。二十六日午後二 時。到外務省。訪廣田外 相。關滿、國國境問題。 約三時會談。卽是日會見 先就懸案中楊木子附近、 俄兵越境 不法事件。如前 再行主張。指摘其原因。 在日方 越境不法。求交俄 兵死體。廣田外相。答以 問題如前、歸現地交涉解決 爲適。更要望之如左。

滿俄國境。頻發紛爭。 日滿 俄三國交。阻害頗 大。宜設三國共同設委 員會。爲之解決。而現 在滿俄國境紛爭之發生 尤爲蘇俄集中必要以上 之兵力。致人刺戟然情 欲國境 不生事。必要蘇 俄先自極東撤兵而主。

蘭線揮發油汽動車

按本年度中實現

希住民援助相互促進

蘭關三郡 下住民。自數年 前、希望宜蘭線。運轉揮 發油汽動車。屢次陳情。 年度、除頂双溪頭圍間。 全部將 運轉揮發油汽動車 右據鐵道部關係者某氏談 云。三郡下人士之熱心運 動。及陳情等。非常得力 在鐵道本部。關此問題、 十分關心。故乘機希望三 郡民。與鐵道關係者提携 極力促進、而基隆。蘇澳 指導教材。近當航空知識 研究。特延該聯隊將校。 每星期澈 校講演。而該兩 機兩臺、以充機械工學科 參考。中央 飛行學校 教官。 現在 屏東飛行聯隊。講得戰闘 機操縱術。 故由校延聘 現已告竣。 將竝兩機收容 斯時欲 順開航空 講演會云

臺南高工

設收納庫

臺南高等工業學校。前由 屏東飛行聯隊。講得戰闘 機。因無收納庫。須解卸 方得收容。講義時、非常不 便。故由校延一收納庫。 現已告竣。將竝兩機收容 斯時欲 順開航空 講演會云

臺北小公校

臨海教育

各自十日開始

臺北市。本年度臨海教育 自前由各小公學校。募集 委員會。謀限地的解決 解決困難之時。移之哈 爾賓 中央委員會、該 委員會。更不能解決之 時。移之蘇府間交涉。

臺中州紙幣

歐洲定購

達五萬打

臺中州名產 之手稻紙子。 前來震災。 大受打擊、最 近始復本常。 歐洲 方面定 購漸多。 現在已達五萬打 今後亦陸續來購。而從來 之單色、殆不見採買、全 部係混合模樣。 細目者云

劫金腕環

屏東犯人

逃灣裡就縛

屏東市。 阿緑藥房。 王加 志氏妻。 王氏塊。 去二十 一光明云。

費消公款

懲役一年半

大甲郡 大甲街日南 人蔘有 限會社。 前往沙鹿 陳金火 巡査探知。 恐將來 發生命案。 卽將 狗男女六 名捕入 大甲分室。 取調後 由關主任。 處罰科。 嚴重 說諭一番。 然後放之歸去云

五男戀一女

大發醋氣

瓦毀不休

大甲郡 大甲街日南 人蔘有 限會社。 前往沙鹿 陳金火 巡査探知。 恐將來 發生命案。 卽將 狗男女六 名捕入 大甲分室。 取調後 由關主任。 處罰科。 嚴重 說諭一番。 然後放之歸去云

人妾投水不遂

嘉義市西門町三丁 目金福 堂藥房林 金福之妾。 邱氏 秀。年二十二。於二十六 日午前 二時半。至市內檜 町三丁目 簽林 所貯杉池。 欲投身 自殺。被同所人夫 發見救起。 問秀前 曾嚥鼠 藥自殺 未遂。其原因聞與 大婦爭風。 致與夫時 常齟 齬。 生出悲觀云。

夫生意失敗

兩子又繼死

悲觀投水

原籍嘉 義郡新巷庄新巷四 〇二番地。 李煙廷之妾李 氏鏡。年三十。本月十 日。由花蓮港。 轉入瑞芳 礦務所。 投入 坑內。 自殺。 其原因。 爲悲觀 其夫商業失敗。且 五月中。 五歲二歲之兩男 子死亡。 致罹極 度精神病 自殺前之二十四夜。 燒業 已開券二枚。 後又開劵候 被家人發見阻止。 又去二 十五日夜。 自縊不果。 至 去二十六日。 乘其夫熟睡 中逃出投水。 又煙廷方面 委員。 及保正等。 向庄中 有志 旭。 金得二十七圓二 十錢。 贈之爲埋葬費云。

海軍條約消失未定

換主力艦計畫保留

米國海軍長官言明

存廢可能性。 完全消失 未暗 定之國。 凡主力艦 之代換計畫。 保留本決 定爲與 海軍諸條約 之當然結果云。

交涉圓滿解決

陸軍武官室發表

北平二十七日急電。陸軍 武官室。午前 十一時四十 分發表如左。

察哈爾當局。察我解決 案。表示懇之意。承認 廣調關係者。且感察善 後具體辦法。於是。交 涉圓滿解決。今只待該 部歡迎茶話會。午後一時 乘同船。赴神戶云。

以日滿軍威力 使妄越境部隊 卽時撤退

謝介石氏、偕夫人令息。 及國 員其他。一行四十四 名。二十七日早朝。乘商 船熱河 丸入港。時適雨中 門司市長。以下官民。多 數出迎。謝大使。自甲板 上答謝。朝 後上陸。訪 名勝領事館。臨門司俱樂 部歡迎茶話會。午後一時 仍乘同船。赴神戶云。

謝駐日大使 既到門司 尋赴神戶

謝介石氏、偕夫人令息。 及國 員其他。一行四十四 名。二十七日早朝。乘商 船熱河 丸入港。時適雨中 門司市長。以下官民。多 數出迎。謝大使。自甲板 上答謝。朝 後上陸。訪 名勝領事館。臨門司俱樂 部歡迎茶話會。午後一時 仍乘同船。赴神戶云。

宋軍撤退 華滿國境風雲 轉危爲安

新京二十七日急電。獨石 口北方滿洲國境之不法越境 之宋哲元軍。與自 多倫出 動之李守信軍。漸次接近 二十六日 宋相對峙。秦德 純氏。參事廳次。 張參謀 代表。 宋軍朝來。已自 滿洲國 境後退。 尋自 爰石 口方面。 陸續撤 於西南方

海軍條約消失未定

換主力艦計畫保留

米國海軍長官言明

存廢可能性。 完全消失 未暗 定之國。 凡主力艦 之代換計畫。 保留本決 定爲與 海軍諸條約 之當然結果云。

察哈爾省政府 置日本人顧問

諒解成立

北平二十六日電。察哈爾 問題解決。同省政府。接 置日本人顧問。土肥原少 將。奧秦德純氏之間、意 見一致。南京政府。亦承 認之。此不能於解決交涉 中。兩者則已諒解。同省 政府。聘日本人。前例所 無。且自國民政府成立以 來。對日本人。開顧問之 門戶。於茲名開。透境禁 哈爾。率先實現。而該顧 問。軍事或經濟。猶未決 定。兩國提携之前途。放 一光明云。

察哈爾省政府 置日本人顧問

諒解成立

北平二十六日電。察哈爾 問題解決。同省政府。接 置日本人顧問。土肥原少 將。奧秦德純氏之間、意 見一致。南京政府。亦承 認之。此不能於解決交涉 中。兩者則已諒解。同省 政府。聘日本人。前例所 無。且自國民政府成立以 來。對日本人。開顧問之 門戶。於茲名開。透境禁 哈爾。率先實現。而該顧 問。軍事或經濟。猶未決 定。兩國提携之前途。放 一光明云。

北斗 助役履新

北斗郡二林庄外產竹塘部落振 興會長莊惡九氏。因案及發案 期。諸量家婦人。當神忙家庭 暴作物之牧護。案有切見。雖 以十分看顧。故猪暗設置保育 園。得都與暴倡和會之後援。 去二十五日。舉開開式。場所 表於元二林庄長林瓊士之宅。 區域外產竹塘部落一圓。委託 二十六日 來相對時。秦德 純氏。參事廳次。 張參謀 代表。 宋軍朝來。已自 滿洲國 境後退。 尋自 爰石 口方面。 陸續撤 於西南方

大溪 防癘行事

大溪郡大溪街。去二十五日。 頻發腸窒防止。在各要地。掲出 預防標語。又當日。散布數千 枚宣傳單。及派醫宣傳。促一 般徹底的豫防之也。

野球比賽

郡下小公學校兒童。野球大會 決定來三十日。開於 大溪公學 校運動場。有有志者黃統氏。 特寄贈美盃之優勝旗一旒。目 下各學校。均極力練習中云。

澎湖廳 地方制度 講習會

澎湖廳。自二十七日。至 二十九日在廳會議室。對 廳庶務。稅務兩課職員、 竝街庄職員。開地方制度講 習會。講師爲 小濱內務局 長。矢上屬外一名。又三 十日。在廳會議室。開選 舉名簿試作會云。

失職關係 絕食圖死

花蓮港 研海支廳沙牙坦溪 上流。去二十日。有附近 蕃人。發見一內地人。餓 倒在附地。金背負下山。 至研海支廳。加以保護。 該支廳。山川巡査。懸固 治療之證。 尋至自宅。現切 快復。 據本人談。 去至本 月。勤務于臺東製糖會社 吉岡出張所。 爲參員業。 常 與妻死別。 乃到花 蓮港。 入前記山中。 欲絕 食圖死。 歷十七日 始落人 救助。 因其所在高雄。 乃以電報。 通知此事。 去十 五日。 其弟至花蓮港。 率 之歸去云。

嘉義 蔗作改良

嘉義郡當局。 關于蔗作改良品 評會之 宮薄。 于月二十七日起 至七月十七日 凡二十日間。 對 象蔗 約七千 件。 其他 三件。 計七千一件。

南投 街庄長會

南投郡。去二十五日 午前九時 在保甲會議室。 開街庄長會議。 郡下各街庄長助役出席。 嗣倉 郡守臨席。 郡守訓辭。 大誌問 事項。 指示事項。 注意事項。 協議事項。 希望事項等。 由街 庄長熱心討議。 至午後四時散會 云。

南投 宣傳防癘

南投郡於 去二十五日。 起舉行 豫防日。 以樂隊當先。 對郡下 民衆宣傳豫防宣傳單。 與起 發會 云。

方委事項

南投街方面委員 開會以來。其 宗旨漸次徹底。 利用者日增。 五月分 處理事件。 保健部 十一件。 指導相談二件。 周旋紹 介一件。 金品給與四件。 其他 三件。 計七十一件。

嘉義 蔗作改良

嘉義郡當局。 關于蔗作改良品 評會之 宮薄。 于月二十七日起 至七月十七日 凡二十日間。 對 象蔗 約七千 件。 其他 三件。 計七十一件。

日程

嘉義郡 民雄庄管內 各部落自治 振興會。 開立談會式。 依左記 日程舉行。

六月二十七日午前十時至 ▲同日午後一時 寮埔。▲同 二十八日午前十時半 斗山。 ▲同日 午後一時 田中央。▲ 七月一日午前十時 鴨母坔。 ▲同日午後一時 北勢子。

詩壇

謝李梅樹先生爲幹雙親墳墓圖

則修　黃萬生

丹青能手夙名揚、大小將軍 妙寫長、爲寫水山煙裏好、 頌增風木感我傷。深思罔極 慚無報、舊事重憶未敢忘。 珍重裝演成冊本、披襟一撫 貢心香。

文雅村即景

新竹　葉文福

華堂高映夕陽明、一片田疇 似掌平。遠水雲從郊外護、 近山青對郭門橫。家推唐宋 魁文起、風襲曹劉翰墨清。 儒學實興期地主、扶輪原不 在庭名。

冷藏庫

左十五右十九臭養菜

竟異藏金巧製平。貯冰冷 亦潤吾膏。任他炎熱施威 甚。自是鮮新客得意。 右十五左十八臭六也 數稼構造甚堅牢。妨腐留 鮮計最高。縱著扶餘諸火 玉。亦應刮恆不差毫。

北州同聲聯吟

左十五右十六臭新腸

製貯急緩 悉臭腐。清涼較 比玉壺高。 此中 寒蓋都能

助手林寶玉 委女士。 獲託製 禁。其奈儲乘未識寒。

右十六左廿一 關獻端

浮瓜沈李 若嫌夥。 消夏錄 情我實。 匪種 酒若來後 點、 來製奮鬪共冰融。

小說

假金票案(續)

(三)案情幽密

羅孚　文雄

小山警部 補及探刑事 但在廳直室小座。 右十六左廿一 關獻端 五衙氏等接任。 關係 育料不 承有殺意。 然觀死者受傷 俱屬致命之處。 蔣雖非其 蔣進統 善關係、實非歷 日常兩國。 今突意接近 基隆市勸業協會理事會。 會州支部。 補助金四十圓。 外 去二十五日 午後一時。 開 廳竹塘部落民之任意附金。 當局。 臨席 調查表示誠意。 深爲感謝云 六十圓充之云。

臺中運動鐵道 市民大會

組期成同盟

臺中市。鐵道期成同盟會 結成磋商會。去二十五日 午後七時、開于市民館。 諸賢 行委員。及市內有志 五十餘名出席。由坂本氏 說明起草案。棚邊氏。起 述希望 及質問。終決定來 七月一日。在市公會堂。 開市民大會。以市民總意 組期成同盟會云。

使土肥原少將 現地解決

關東軍訓令

新京二十七日電。獨石口 北方宋哲元軍不法越境射 擊、滿洲國損害。詳細不 明。今次事件 責任者之處 罰。及將來保障。關東軍 代表土肥原少將、與奏德 純氏。謀即時現地解決。 二十七日 關東軍已 發訓令 午後七時、開于市民館。 諸賢 行委員。及市內有志 五十餘名出席。由坂本氏 說明起草案。棚邊氏。起 述希望 及質問。終決定來 七月一日。在市公會堂。 開市民大會。以市民總意 組期成同盟會云。

中部震災義捐金

寄本社十五萬餘圓

經送往督府一任處分

前番臺中、新竹兩州下震 災救援義 捐金之募集、以 來、本社 十五萬餘圓 之多額、 無可如何。 關而 大半分 去二十日 截止。 合其後申 込者、整理完了。 加以 貯金利息。 計得十五萬二 千九百五圓四十六錢。除 託送完了者十萬圓、殘額 五萬二千九百五圓四十六 錢。 月二十七日、送往督 府內震災 救護事務所。一 任其處分。 爲是本社義捐 金辦理。 全部清楚。 此時 對寄附者、深表謝意。 又寄附金總額。 爲十五萬 二千八百十三圓三十三錢 利息九十二圓十三錢。計 十五萬二千九百 五圓四十 六錢也。

基隆自治制 講習會

基隆市。二十八日 午後一 時。在市役所會議室。集 市警察部、職員全部。由小 濱內務局長。爲講師。開 關于改正地方自治制度之 精神講習會云。

蚊煙失慎

大甲街火害

大甲郡 大甲街一七二番地 日用雜貨店。柯清德宅。 去二十六日。午前三時頃 突然失火。街民 由夢中驚 醒。見滿天火星飛散。是 夜水滴滴水全無。水道又無

貨主不滿

大連運金欲起

既報大連汽船。大阪商船 近海郵船三社協定。大連 線載貨加昇之報道一傳。 貨主非常衝動。而恒其擅 利者不少。 蓋謂大連汽船 進出臺灣。開拓航路。貨 主極力援助之。今其地盤 既固。則反掌欲起載貨。 未免露骨。大連汽船。雖 云三社協定。似此擅率。 督府亦應多少考慮、夫總 中。似可能實現。爲是本

臺灣第一劇場

豫定九月中旬開館

三四層樓經營珈琲店

臺北市 太平町建築中之臺 灣第一劇場。現正 鹵夜築 行工事。以期于博覽會前 開館。其前面 奧劇 聯絡 店舖。三四各層。經租于 北平二十六日電。察哈爾 問題解決。同省政府。接 置日本人顧問。土肥原少 將。奧秦德純氏之間、意 見一致。南京政府。亦承 認之。此不能於解決交涉 中。兩者則已諒解。同省 政府。聘日本人。前例所 無。且自國民政府成立以 來。對日本人。開顧問之 門戶。於茲名開。透境禁 哈爾。率先實現。而該顧 問。軍事或經濟。猶未決 定。兩國提携之前途。放 一光明云。

劫金腕環

屏東犯人

逃灣裡就縛

屏東市。 阿緑藥房。 王加 志氏妻。 王氏塊。 去二十

費消公款

懲役一年半

大甲郡 大甲街日南 人蔘有 限會社。 前往沙鹿 陳金火 巡査探知。 恐將來 發生命案。 卽將 狗男女六 名捕入 大甲分室。 取調後 由關主任。 處罰科。 嚴重 說諭一番。 然後放之歸去云

五男戀一女

大發醋氣

瓦毀不休

大甲郡 大甲街日南 人蔘有 限會社。 前往沙鹿 陳金火 巡査探知。 恐將來 發生命案。 卽將 狗男女六 名捕入 大甲分室。 取調後 由關主任。 處罰科。 嚴重 說諭一番。 然後放之歸去云

人妾投水不遂

嘉義市西門町三丁 目金福 堂藥房林 金福之妾。 邱氏 秀。年二十二。於二十六 日午前 二時半。至市內檜 町三丁目 簽林 所貯杉池。 欲投身 自殺。被同所人夫 發見救起。 問秀前 曾嚥鼠 藥自殺 未遂。其原因聞與 大婦爭風。 致與夫時 常齟 齬。 生出悲觀云。

夫生意失敗

兩子又繼死

悲觀投水

原籍嘉 義郡新巷庄新巷四 〇二番地。 李煙廷之妾李 氏鏡。年三十。本月十 日。由花蓮港。 轉入瑞芳 礦務所。 投入 坑內。 自殺。 其原因。 爲悲觀 其夫商業失敗。且 五月中。 五歲二歲之兩男 子死亡。 致罹極 度精神病 自殺前之二十四夜。 燒業 已開券二枚。 後又開劵候 被家人發見阻止。 又去二 十五日夜。 自縊不果。 至 去二十六日。 乘其夫熟睡 中逃出投水。 又煙廷方面 委員。 及保正等。 向庄中 有志 旭。 金得二十七圓二 十錢。 贈之爲埋葬費云。

海軍條約消失未定

換主力艦計畫保留

米國海軍長官言明

存廢可能性。 完全消失 未暗 定之國。 凡主力艦 之代換計畫。 保留本決 定爲與 海軍諸條約 之當然結果云。

察哈爾省政府 置日本人顧問

諒解成立

北平二十六日電。察哈爾 問題解決。同省政府。接 置日本人顧問。土肥原少 將。奧秦德純氏之間、意 見一致。南京政府。亦承 認之。此不能於解決交涉 中。兩者則已諒解。同省 政府。聘日本人。前例所 無。且自國民政府成立以 來。對日本人。開顧問之 門戶。於茲名開。透境禁 哈爾。率先實現。而該顧 問。軍事或經濟。猶未決 定。兩國提携之前途。放 一光明云。

北斗 助役履新

北斗郡二林庄外產竹塘部落振 興會長莊惡九氏。因案及發案 期。諸量家婦人。當神忙家庭 暴作物之牧護。案有切見。雖 以十分看顧。故猪暗設置保育 園。得都與暴倡和會之後援。 去二十五日。舉開開式。場所 表於元二林庄長林瓊士之宅。 區域外產竹塘部落一圓。委託 二十六日 來相對時。秦德 純氏。參事廳次。 張參謀 代表。 宋軍朝來。已自 滿洲國 境後退。 尋自 爰石 口方面。 陸續撤 於西南方

大溪 防癘行事

大溪郡大溪街。去二十五日。 頻發腸窒防止。在各要地。掲出 預防標語。又當日。散布數千 枚宣傳單。及派醫宣傳。促一 般徹底的豫防之也。

野球比賽

郡下小公學校兒童。野球大會 決定來三十日。開於 大溪公學 校運動場。有有志者黃統氏。 特寄贈美盃之優勝旗一旒。目 下各學校。均極力練習中云。

澎湖廳 地方制度 講習會

澎湖廳。自二十七日。至 二十九日在廳會議室。對 廳庶務。稅務兩課職員、 竝街庄職員。開地方制度講 習會。講師爲 小濱內務局 長。矢上屬外一名。又三 十日。在廳會議室。開選 舉名簿試作會云。

失職關係 絕食圖死

花蓮港 研海支廳沙牙坦溪 上流。去二十日。有附近 蕃人。發見一內地人。餓 倒在附地。金背負下山。 至研海支廳。加以保護。 該支廳。山川巡査。懸固 治療之證。 尋至自宅。現切 快復。 據本人談。 去至本 月。勤務于臺東製糖會社 吉岡出張所。 爲參員業。 常 與妻死別。 乃到花 蓮港。 入前記山中。 欲絕 食圖死。 歷十七日 始落人 救助。 因其所在高雄。 乃以電報。 通知此事。 去十 五日。 其弟至花蓮港。 率 之歸去云。

嘉義 蔗作改良

嘉義郡當局。 關于蔗作改良品 評會之 宮薄。 于月二十七日起 至七月十七日 凡二十日間。 對 象蔗 約七千 件。 其他 三件。 計七十一件。

日程

嘉義郡 民雄庄管內 各部落自治 振興會。 開立談會式。 依左記 日程舉行。

六月二十七日午前十時至 ▲同日午後一時 寮埔。▲同 二十八日午前十時半 斗山。 ▲同日 午後一時 田中央。▲ 七月一日午前十時 鴨母坔。 ▲同日午後一時 北勢子。

詩壇

謝李梅樹先生爲幹雙親墳墓圖

則修　黃萬生

丹青能手夙名揚、大小將軍 妙寫長、爲寫水山煙裏好、 頌增風木感我傷。深思罔極 慚無報、舊事重憶未敢忘。 珍重裝演成冊本、披襟一撫 貢心香。

文雅村即景

新竹　葉文福

華堂高映夕陽明、一片田疇 似掌平。遠水雲從郊外護、 近山青對郭門橫。家推唐宋 魁文起、風襲曹劉翰墨清。 儒學實興期地主、扶輪原不 在庭名。

冷藏庫

左十五右十九臭養菜

竟異藏金巧製平。貯冰冷 亦潤吾膏。任他炎熱施威 甚。自是鮮新客得意。 右十五左十八臭六也 數稼構造甚堅牢。妨腐留 鮮計最高。縱著扶餘諸火 玉。亦應刮恆不差毫。

北州同聲聯吟

左十五右十六臭新腸

製貯急緩 悉臭腐。清涼較 比玉壺高。 此中 寒蓋都能

助手林寶玉 委女士。 獲託製 禁。其奈儲乘未識寒。

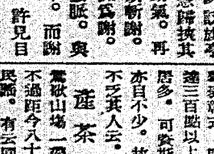
右十六左廿一 關獻端

浮瓜沈李 若嫌夥。 消夏錄 情我實。 匪種 酒若來後 點、 來製奮鬪共冰融。

小說

假金票案(續)

(三)案情幽密

羅孚　文雄

小山警部 補及探刑事 但在廳直室小座。 右十六左廿一 關獻端 五衙氏等接任。 關係 育料不 承有殺意。 然觀死者受傷 俱屬致命之處。 蔣雖非其 蔣進統 善關係、實非歷 日常兩國。 今突意接近 基隆市勸業協會理事會。 會州支部。 補助金四十圓。 外 去二十五日 午後一時。 開 廳竹塘部落民之任意附金。 當局。 臨席 調查表示誠意。 深爲感謝云 六十圓充之云。